

令和7年度

小規模崩壊地復旧事業

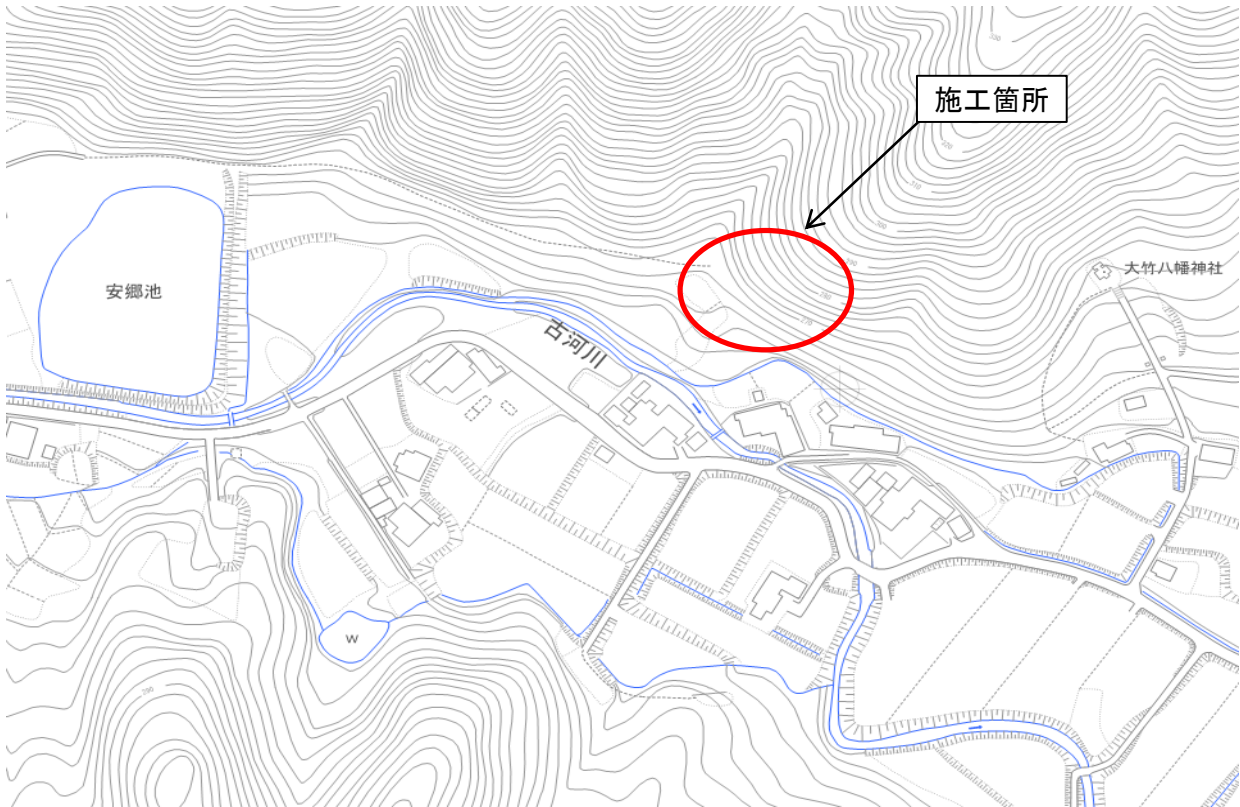
原地区ほか流末水路設置工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市八本松町原、正力

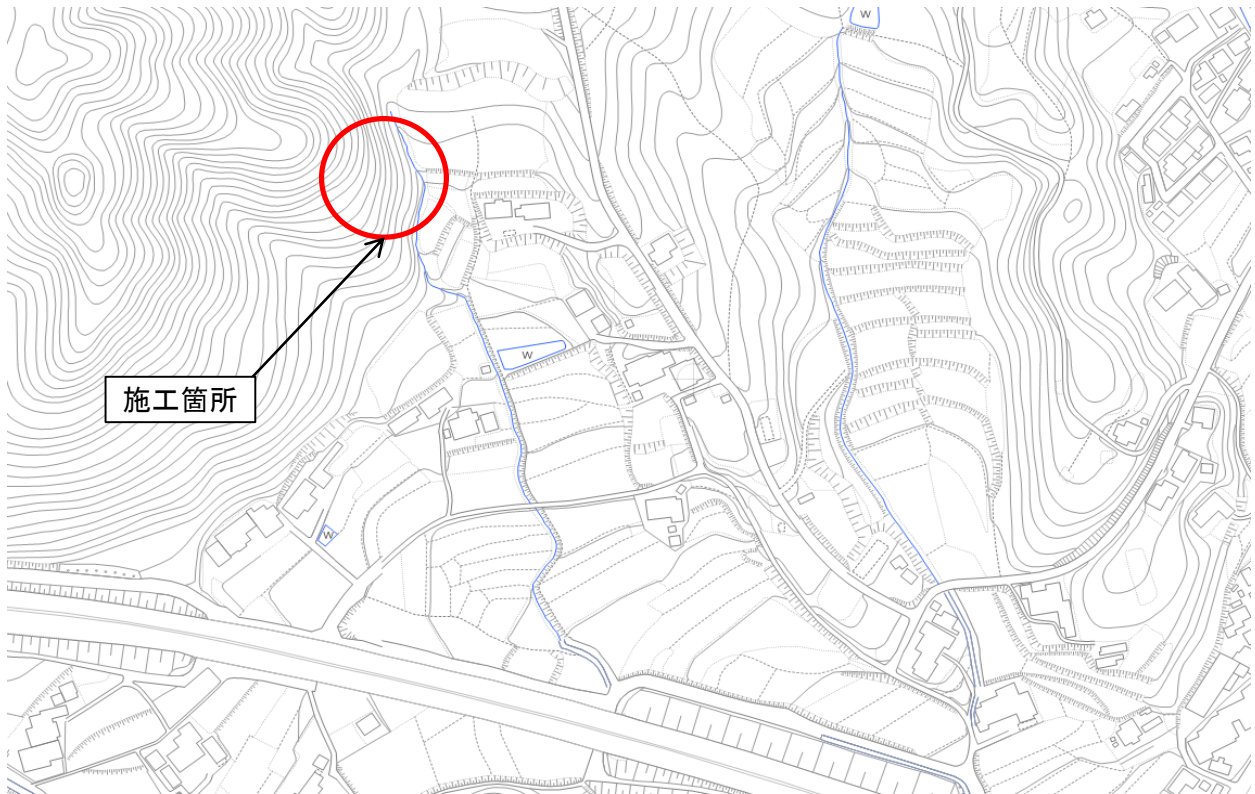
原地区

位置図



正力地区

位置図



特記仕様書

(原地区ほか流末水路設置工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
8. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
9. 法定外の労災保険の付保
10. 週休2日適用工事等 週休2日（農林工事）
11. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
2. 盛土・埋戻土
3. 建設副産物
 - (1) 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））
 - (2) 建設発生木材（搬出）

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 疑義の解決等
3. 仮設工

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」及び東広島市制定の第15編下水道編（最新版）に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものに

あつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和7年8月)広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

本工事は、小規模工事等であるため所定の様式での提出を省略し、「土木工事共通仕様書(令和7年8月)広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載の資料を監督職員に提出することにより、履行報告とする。なお、工期延長等が必要となった場合は、報告方法について監督職員と協議するものとする。

6. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定(広島県)」および「土木工事監督実施要領(広島県)」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定(広島県)」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準(広島県)」とあるのは「土木工事検査技術基準(東広島市)」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準(国土交通省)」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン(国土

交通省)」は適用しない。

3) 「4. 検査」は適用しない。

4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。

5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

(1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

(2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間(12月29日～1月3日)、夏季休暇3日間(国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。)、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。)期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

(3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数(WBGT)が25度以上の日をいう。

ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数(WBGT)を対象とする。

(4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。

(5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間(計測開始日、計測終了予定日)を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。

(6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

(7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値(%)＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

(8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

(9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10. 週休2日適用工事等 週休2日(農林工事)

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(農林工事)(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

11. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあつては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区分	材料名	摘要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区分	材料名	摘要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2. 盛土・埋戻土

3. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
原地区

(名称)	黒瀬資源再利用センター株式会社
(所在地)	東広島市黒瀬町大多田字大十田302-52
(運搬距離)	7.4 km

(2) 建設発生木材(搬出)

当該工事により発生する建設発生木材は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は、原：竹及び竹根L=18.7km、伐採木及び根株L=12.6km、正力：伐採木L=17.9km、根株L=17.6 km を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

3. 仮設工

仮設工(任意)については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

特記仕様書（施工箇所が点在する工事の積算）

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、工事箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

(1) 工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、主たる工種区分は、工事全体で判断する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積み上げる。

(イ) 現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、主たる工種区分は、工事全体で判断する。

c 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期、工事期間、施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお、処分費等が「共通仮設費対象額(P) + 準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合、率計算の対象については、工事箇所ごとに対象額を算出する。

工事箇所 A：原地区流末水路

工事箇所 B：正力地区流末水路

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費	原地区			
流路等		式	1	レベル1
治山土工		式	1	レベル2
補足土		式	1	レベル3
補足土	再生土	m3	8	レベル4
整形仕上げ工		式	1	レベル3
法面整形(盛土部)		m2	42	レベル4
法面工	張コンクリート	m2	4.4	レベル4
流路工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り		式	1	レベル4
埋戻し		式	1	レベル4
水路工		式	1	レベル3
角フリューム設置工	KF500 L=2.0	m	48.1	レベル4
角フリューム落差工	KD500 L=1.5	個	5	レベル4
集水柵	既設集水柵 1000-2型 縞鋼板蓋含む	箇所	1	レベル4
間詰めコンクリート		m	2.7	レベル4
巻立コンクリート1号		箇所	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
巻立コンクリート2号		箇所	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル3
撤去工	高密度ポリエチレン管 φ500 54kg/本 (13.5/m)	m	10	レベル4
止水壁		箇所	2	レベル4
角フリューム蓋	KF500用 L=0.5m	枚	4	レベル4
角フリューム設置工	KF250	m	2	レベル4
ふとんカゴ設置工	1200×500×1000	m	2	レベル4
仮設工		式	1	レベル3
仮設盛土	W=4.0m	式	1	レベル4
大型土のう移設		袋	34	レベル4
復旧工		式	1	レベル4
水替工		式	1	レベル4
直接工事費				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
伐開除根		ha	0.02	レベル4
集積		a	0.2	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
運搬	竹	m3	20	レベル4
運搬	竹根	m3	10	レベル4
運搬	伐採木	m3	10	レベル4
運搬	根株	m3	3	レベル4
処分費	竹	m3	20	レベル4
処分費	竹根	m3	10	レベル4
処分費	伐採木	m3	10	レベル4
処分費	根株	m3	3	レベル4
共通仮設費率分額				
共通仮設費計				
(純工事費)				
現場管理費				
(工事原価)				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
工事価格計				
消費税相当額計				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費	正力地区			
流路等		式	1	レベル1
流路工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り		式	1	レベル4
埋戻し		式	1	レベル4
補足土		式	1	レベル3
補足土	再生土	m ³	38	レベル4
水路工		式	1	レベル3
DF側溝設置工	B800*H800 L=2.0 Ⅱ型	m	17.4	レベル4
DF落差工	B800-H800-L1500	個	10	レベル4
集水桝	1000-3型	箇所	1	レベル4
間詰めコンクリート		m	3.1	レベル4
付帯工		式	1	レベル3
角フリューム設置工	KF300	m	4	レベル4
植生土のう工	製作・設置 小口並べ	袋	8	レベル4
仮設工		式	1	レベル3
仮設盛土工	W=4.0m	式	1	レベル4

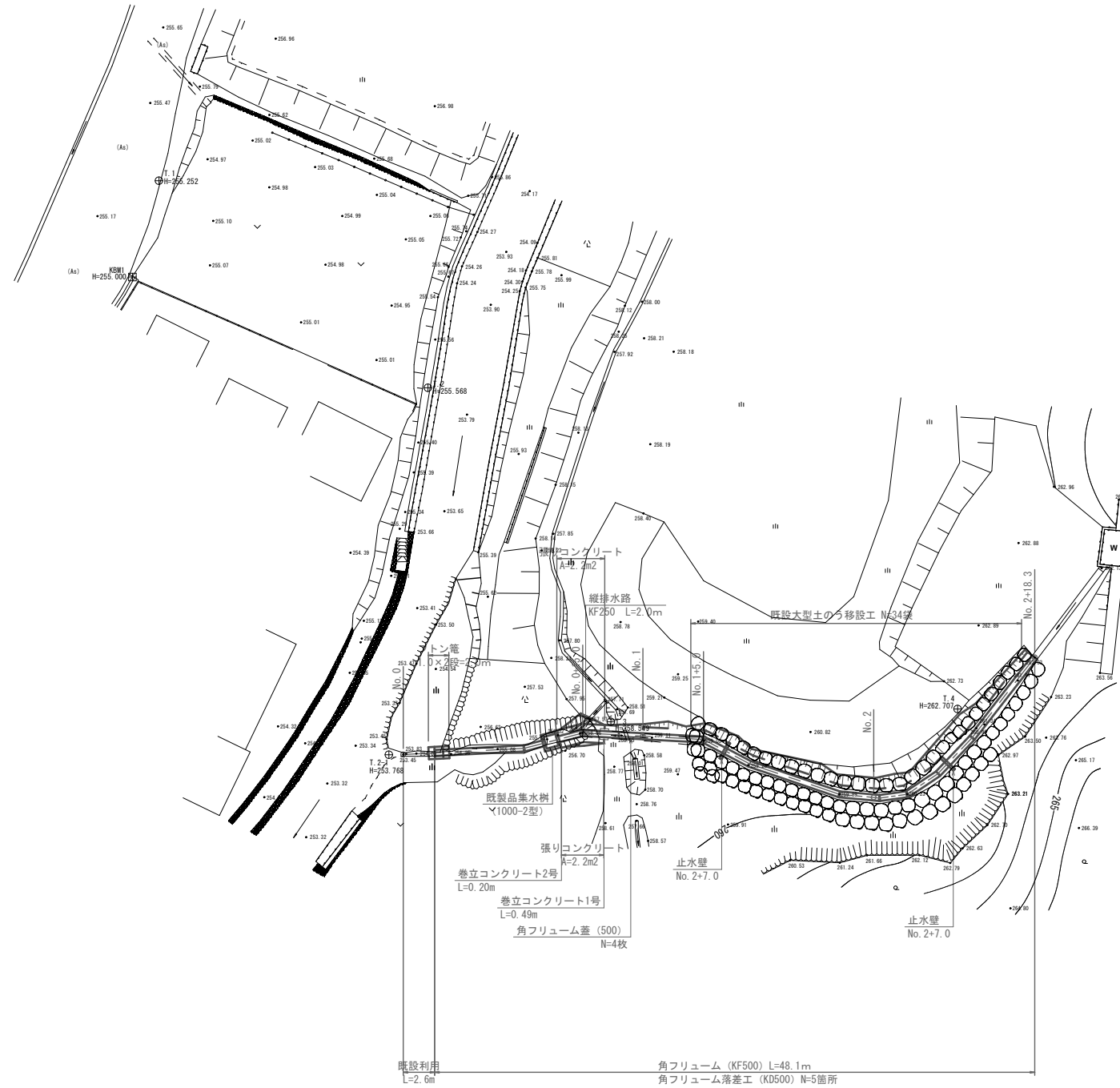
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仮排水工		式	1	レベル4
敷鉄板		式	1	レベル4
直接工事費				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
運搬費		式	1	レベル4
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
伐開除根		ha	0.04	レベル4
集積		a	4.2	レベル4
運搬	伐採木	m3	50	レベル4
運搬	根株	m3	15	レベル4
処分費	伐採木	m3	50	レベル4
処分費	根株	m3	15	レベル4
共通仮設費率分額				
共通仮設費計				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位		数 量	備 考
(純工事費)					
現場管理費					
(工事原価)					
一般管理费率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格計					
消費税相当額計					
請負工事費計					

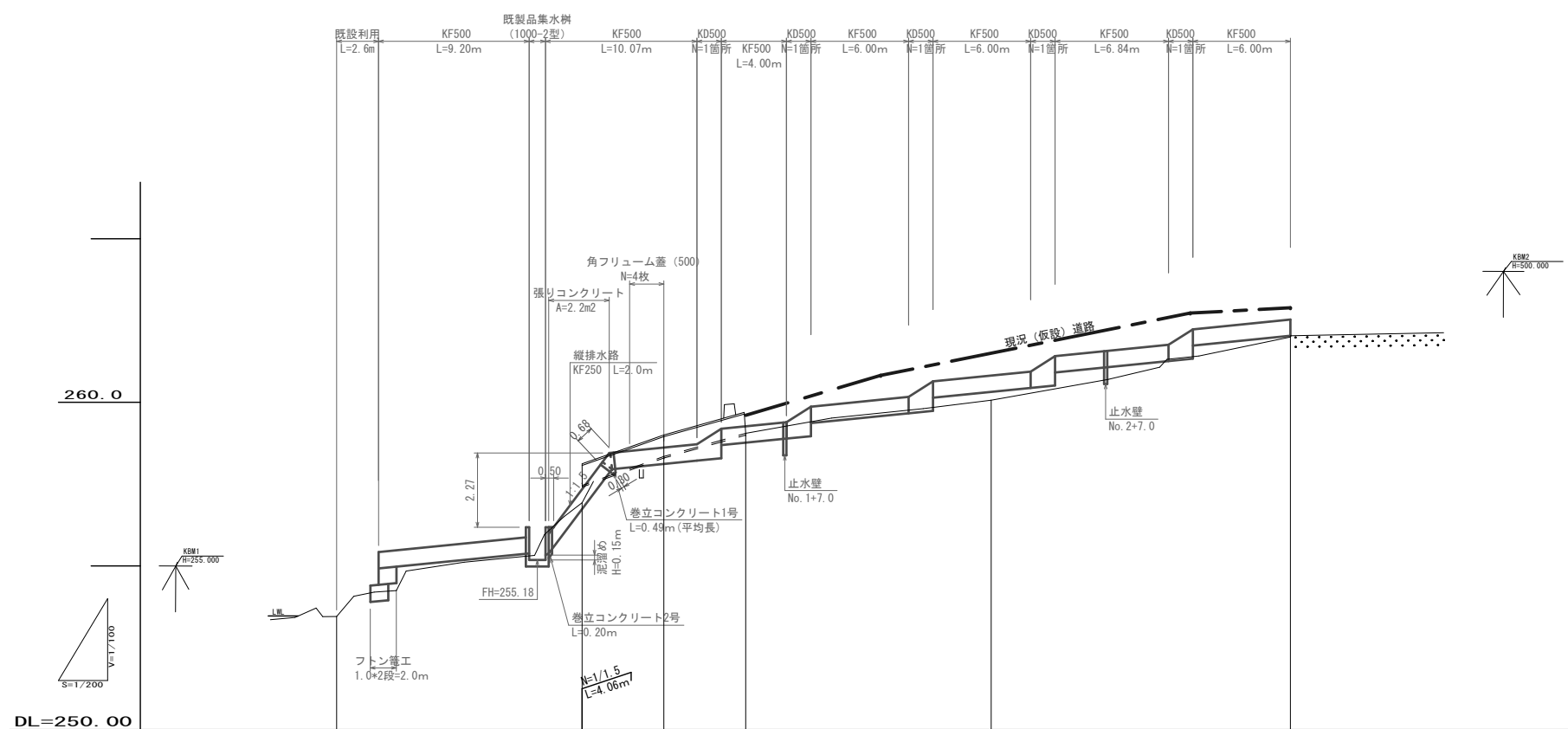
計画平面図



原図 A1サイズ
A3印刷時 縮小率50%

図面番号	1/5	縮尺	S=1:250
工種	小規模崩壊復旧事業		
種別	計画平面図	番号	1/1
路線名	原地区		
工事箇所	東広島市八本松町原 地内		
東広島市			

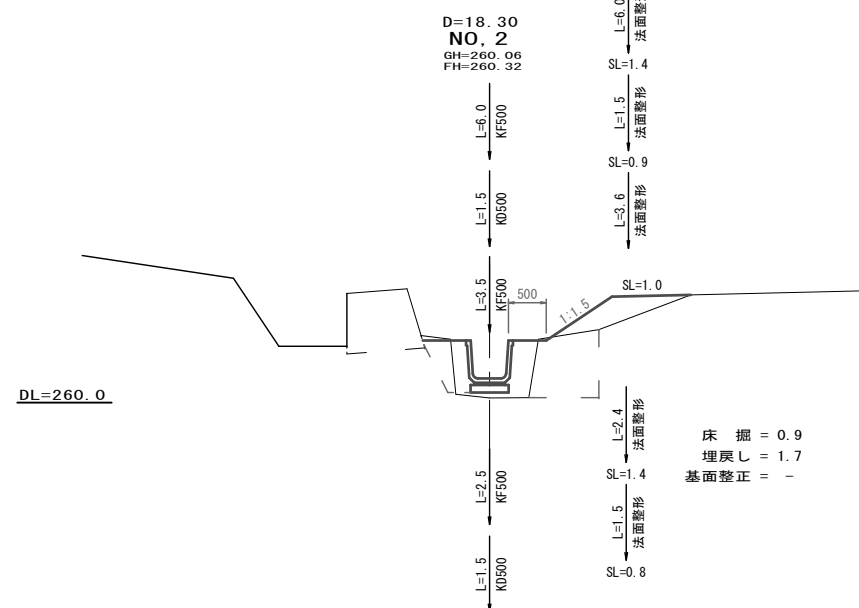
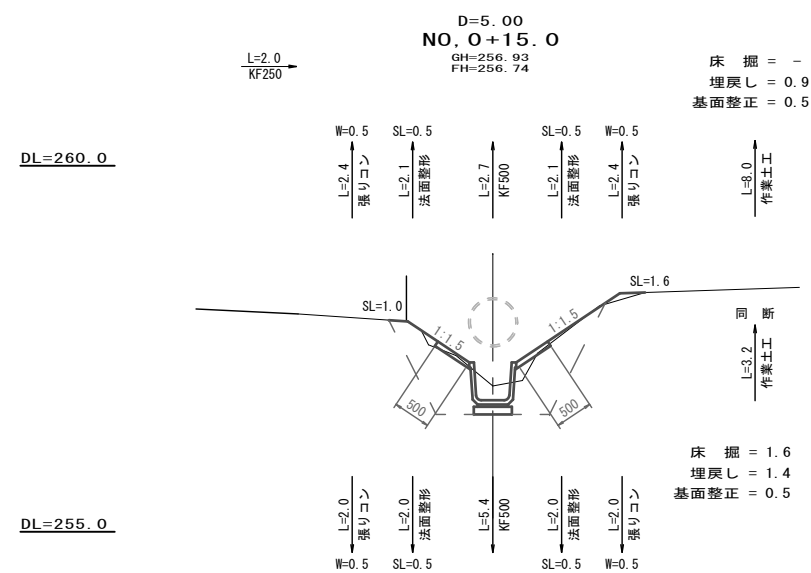
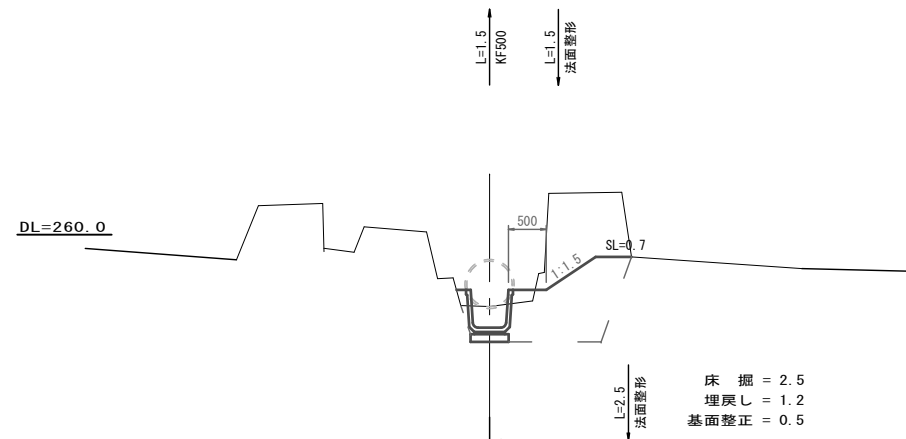
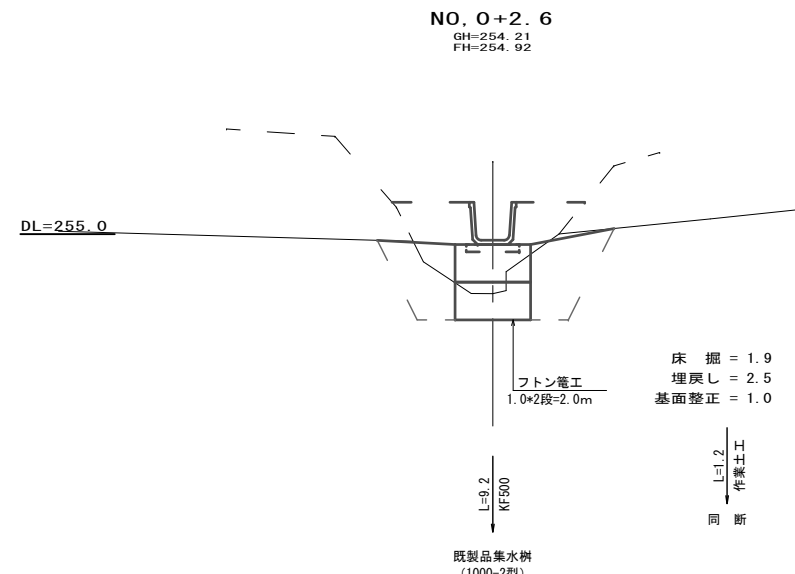
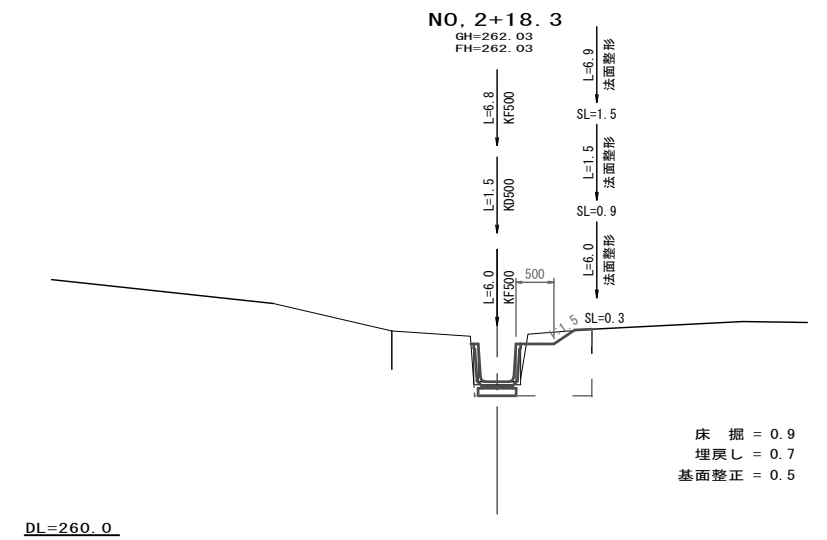
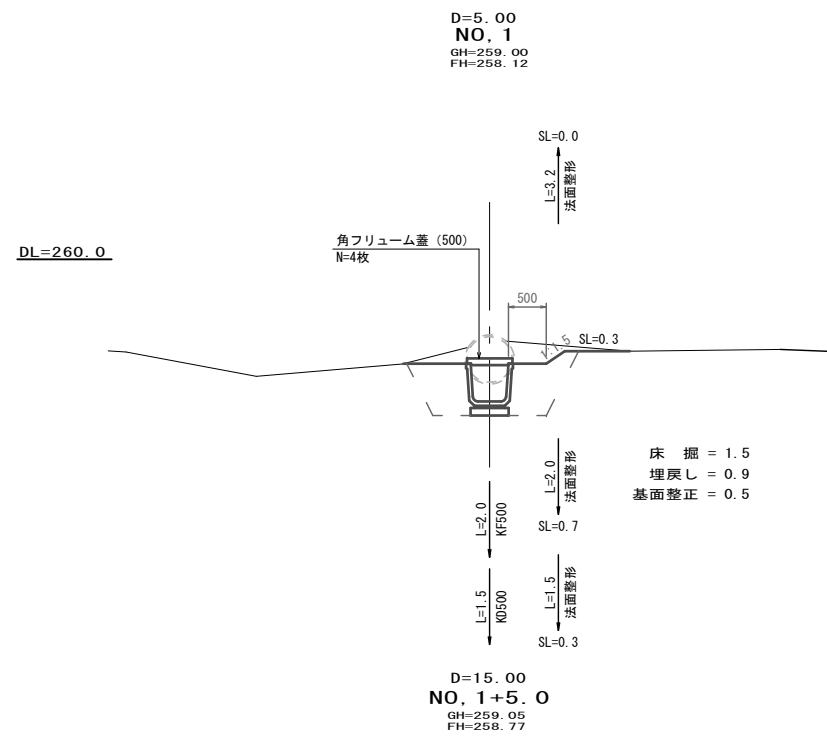
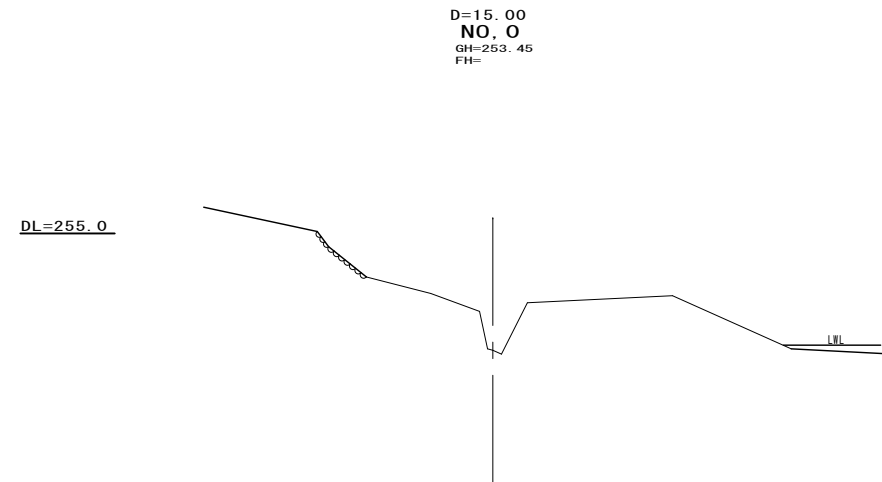
縦断図



勾配					
盛土					
切土					
計画高		254.92	256.38	256.12	260.32
河床高	255.45	254.21	256.38	259.00	260.06
追加距離	0.00	2.87	11.77	20.00	40.00
単距離	0.00		15.00	5.00	15.00
測点	NO.0		NO.1	NO.2	
曲線					

原図 A1サイズ
A3印刷時 縮小率50%

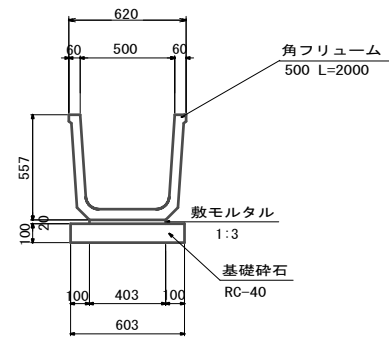
図面番号	2/5	縮尺	V=1:100 S=1:200
工種	小規模崩壊復旧事業		
種別	計画縦断図	番号	1/1
路線名	原地区		
工事箇所	東広島市八本松町原 地内		
東広島市			



原図 A1サイズ
A3印刷時 縮小率50%

図面番号	3/5	縮尺	S=1:50
工 種	小規模崩壊復旧事業		
種 別	計画横断面	番号	1/1
路線 河川名	原 地 区		
工事箇所	東広島市八本松町原 地内		
東広島市			

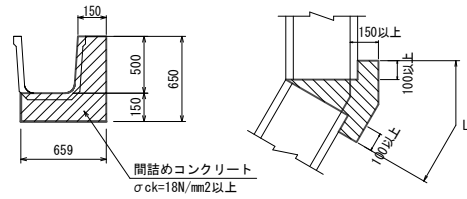
角フリューム
S=1:20
KF-500



名称	規格	単位	数量
角フリューム	KF-500	個	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.081
基礎砕石	RC-40	m ²	6.03

接続部

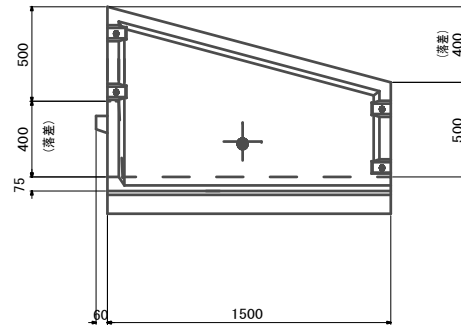
- ①フリュームの接続には漏水を防ぐため専用のパットを使用する。
- ②法線の曲り等により角フリュームの接続にパットを使用できない場合は下図により施工する。この場合、30°以上の開きがある場合は直線で結んでならない。



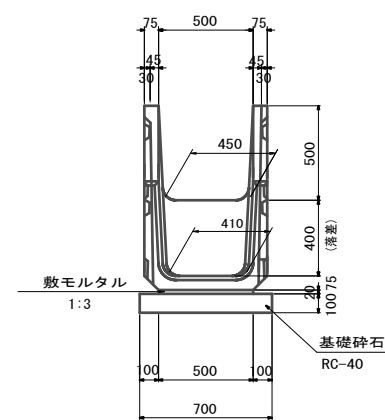
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm$	m ³	1.739
型枠	小型構造物	m ²	6.50

角フリューム落差工
KD-500 S=1:20

側面図

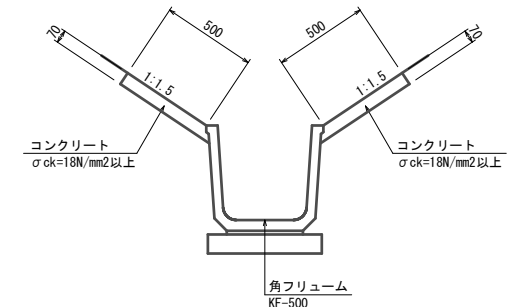


正面図



名称	規格	単位	数量
角フリューム落差	KD-500	個	1.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.015
基礎砕石	RC-40	m ²	1.05

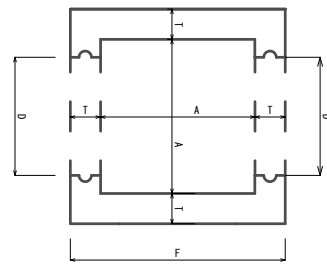
張りコンクリート
S=1:20



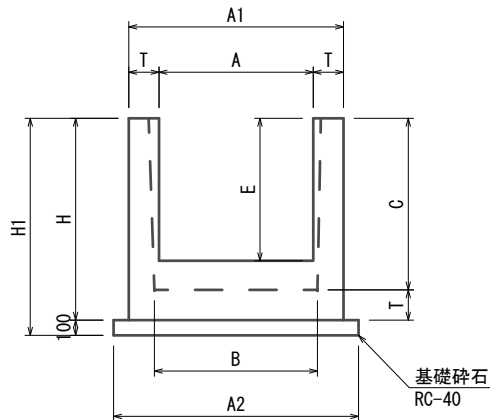
既製品集水枳
S=1:25

(1000-2型)

平面図



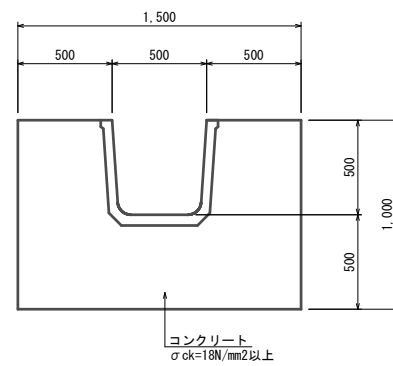
主流入口正面図



名称	寸法											
	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	T (mm)	A1 (mm)	H (mm)	F (mm)	A2 (mm)	A3 (mm)	H1 (mm)
1000-2	1020	980	1000	950	900	200	1420	1200	1420	1620	2420	1300

止水壁

S=1:20

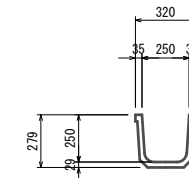


名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm$	m ³	0.250
型枠	無筋構造物	m ²	2.90

角フリューム

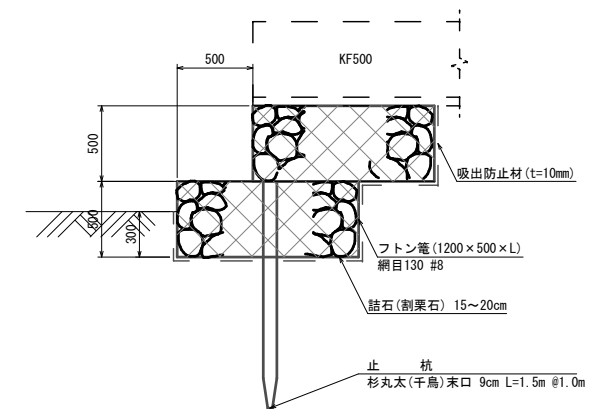
S=1:20

KF-250



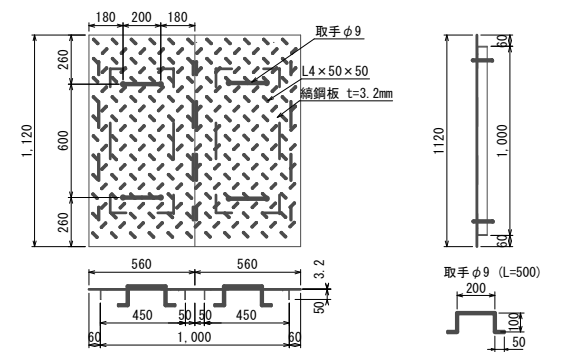
フトン管

S=1:25



縞鋼板 1000 × (500 × 2) × 3.2

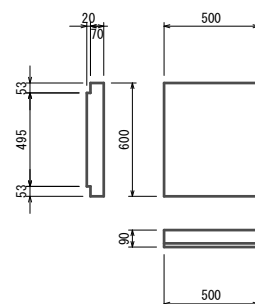
S=1:20



角フリューム蓋

S=1:20

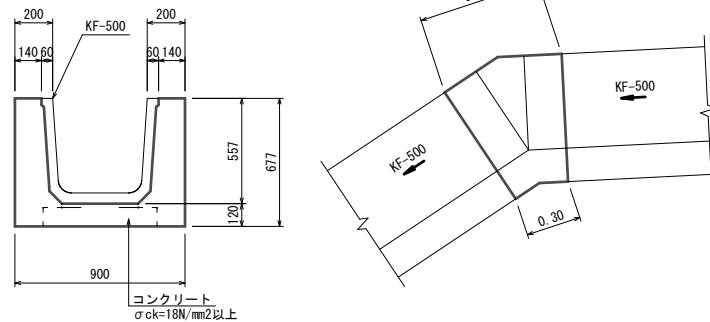
KF-500用



巻立コンクリート1号

S=1:20

L=0.49m (平均長)

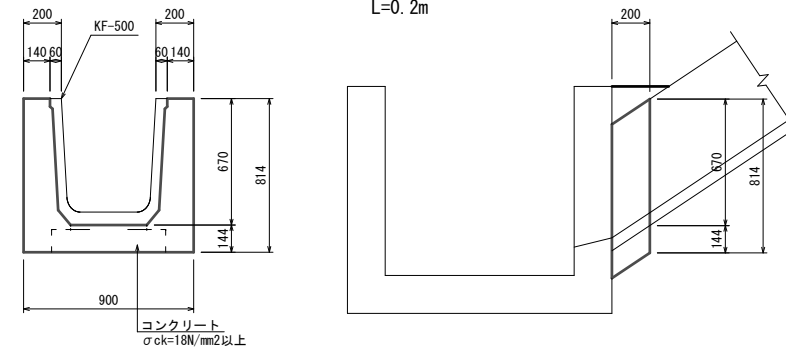


名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm$	m ³	0.129
型枠	小型構造物	m ²	1.19

巻立コンクリート2号

(鉛直方向) S=1:20

L=0.2m

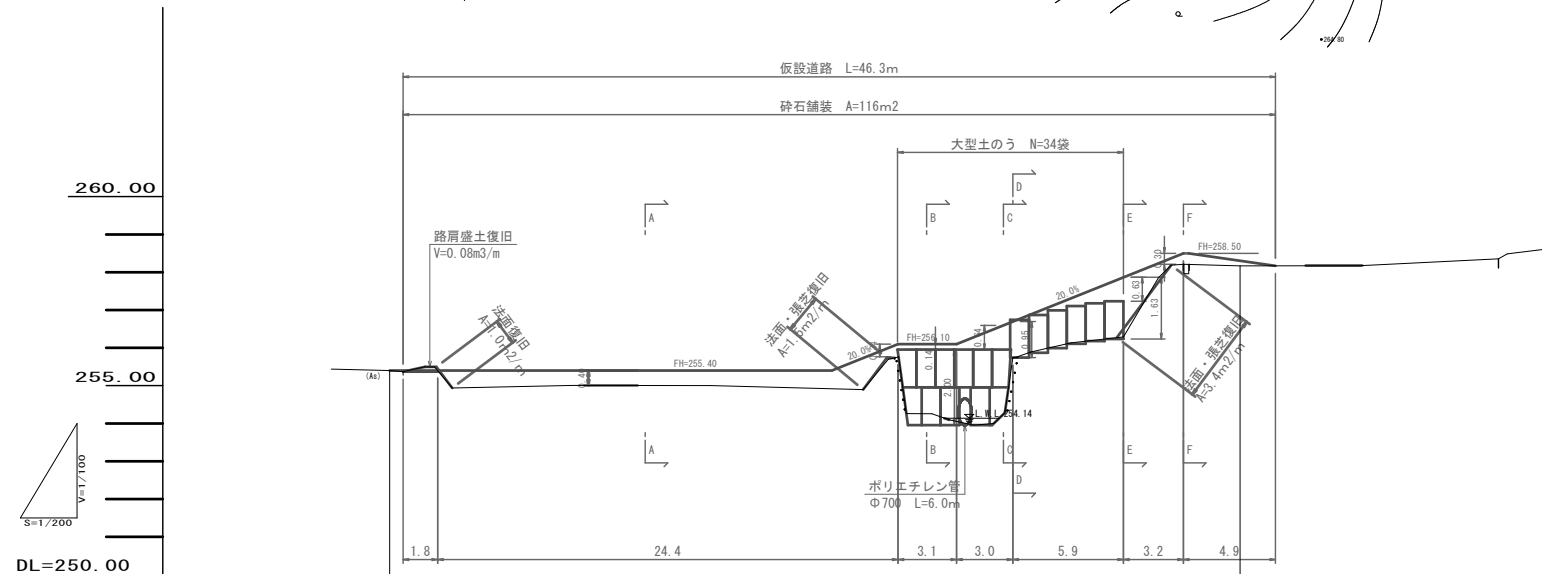
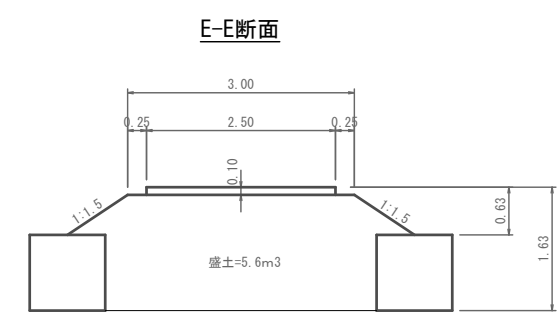
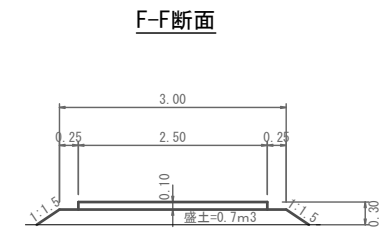
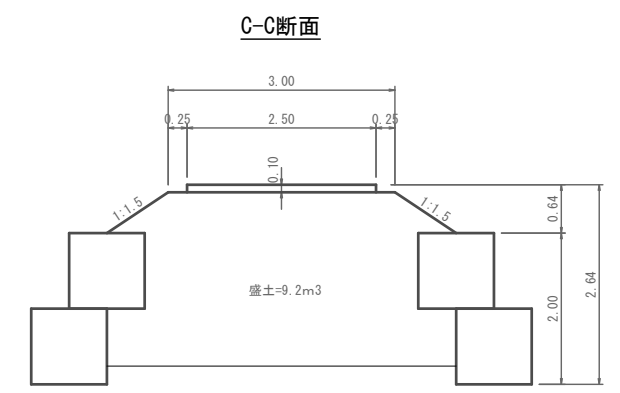
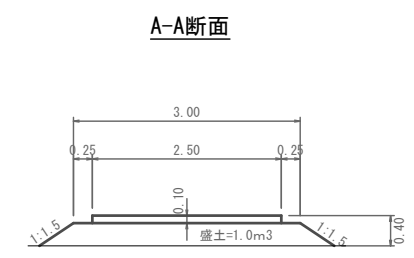
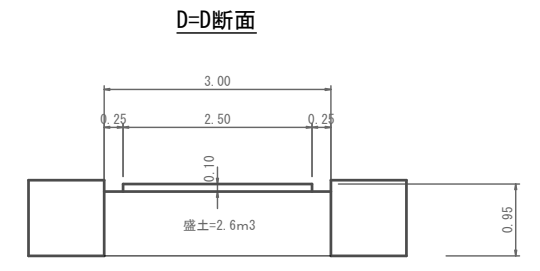
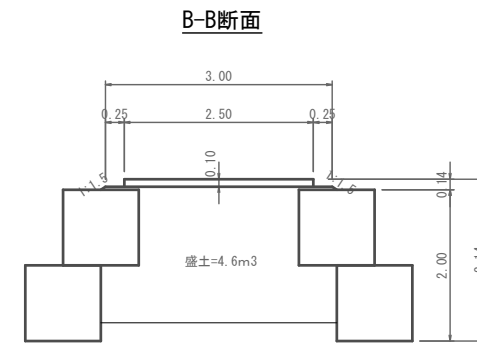
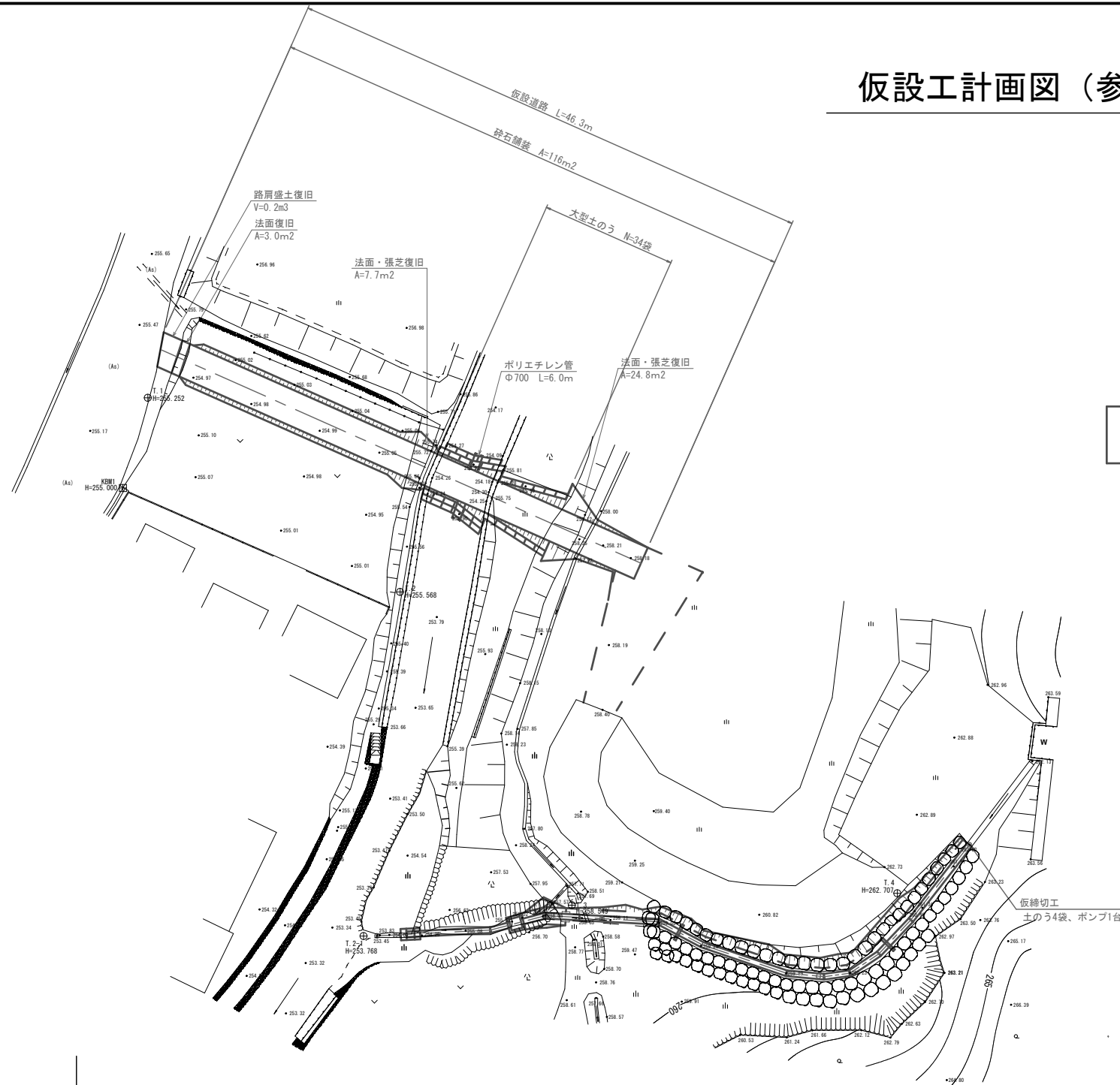


名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm$	m ³	0.063
型枠	小型構造物	m ²	0.64

原図 A1サイズ
A3印刷時 縮小率50%

図面番号	4/5	縮尺	図示
工種	小規模崩壊復旧事業		
種別	構造図	番号	1/1
路線名	原地区		
工事箇所	東広島市八本松町原 地内		
東広島市			

仮設工計画図 (参考)

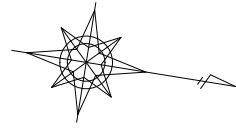


【参考図】

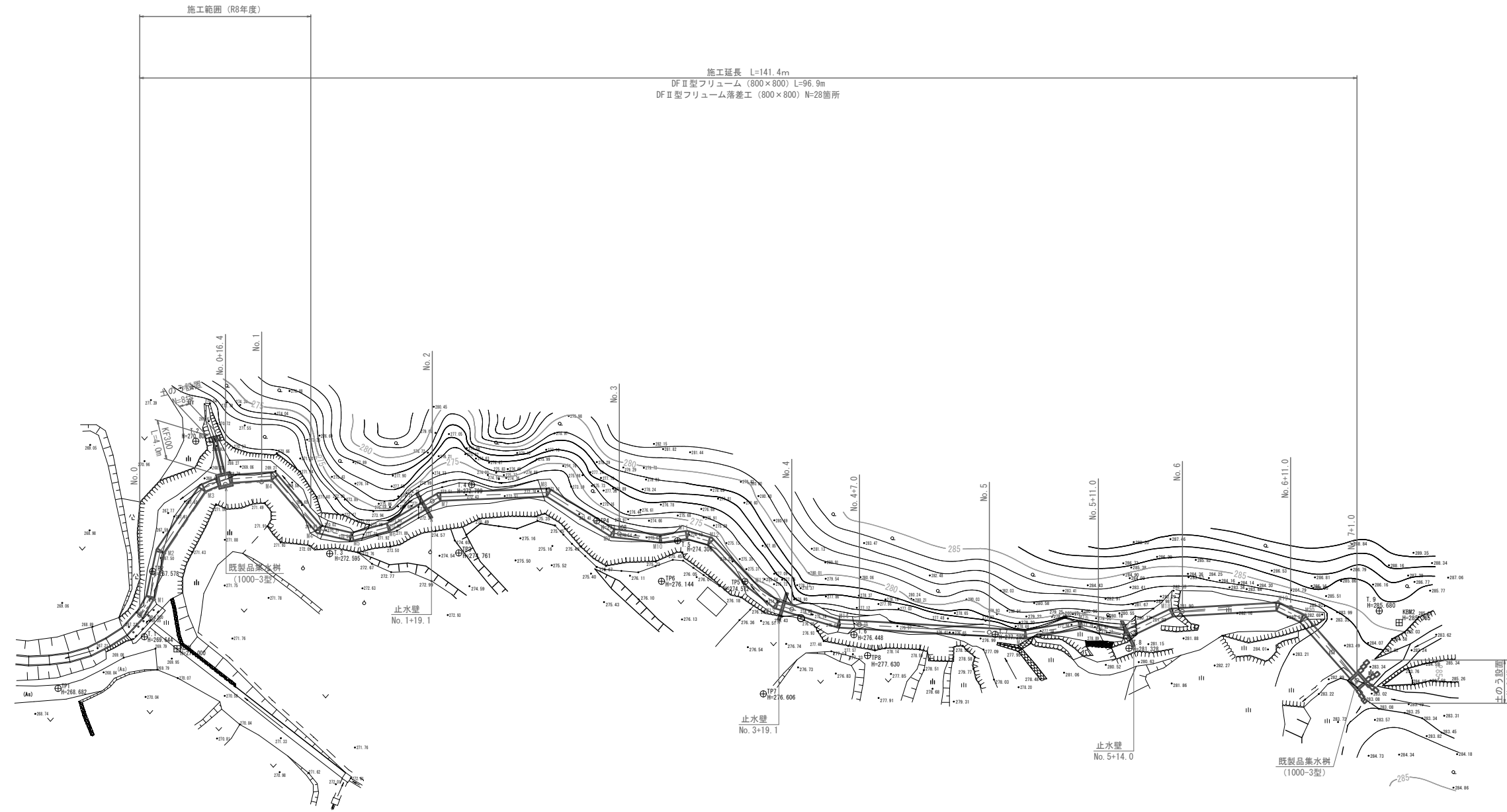
原図 A1サイズ
A3印刷時 縮小率50%

図面番号	5/5	縮尺	S=1:50
工種	小規模崩壊復旧事業		
種別	仮設計画図	番号	1/1
路線名	原地区		
工事箇所	東広島市八本松町原 地内		

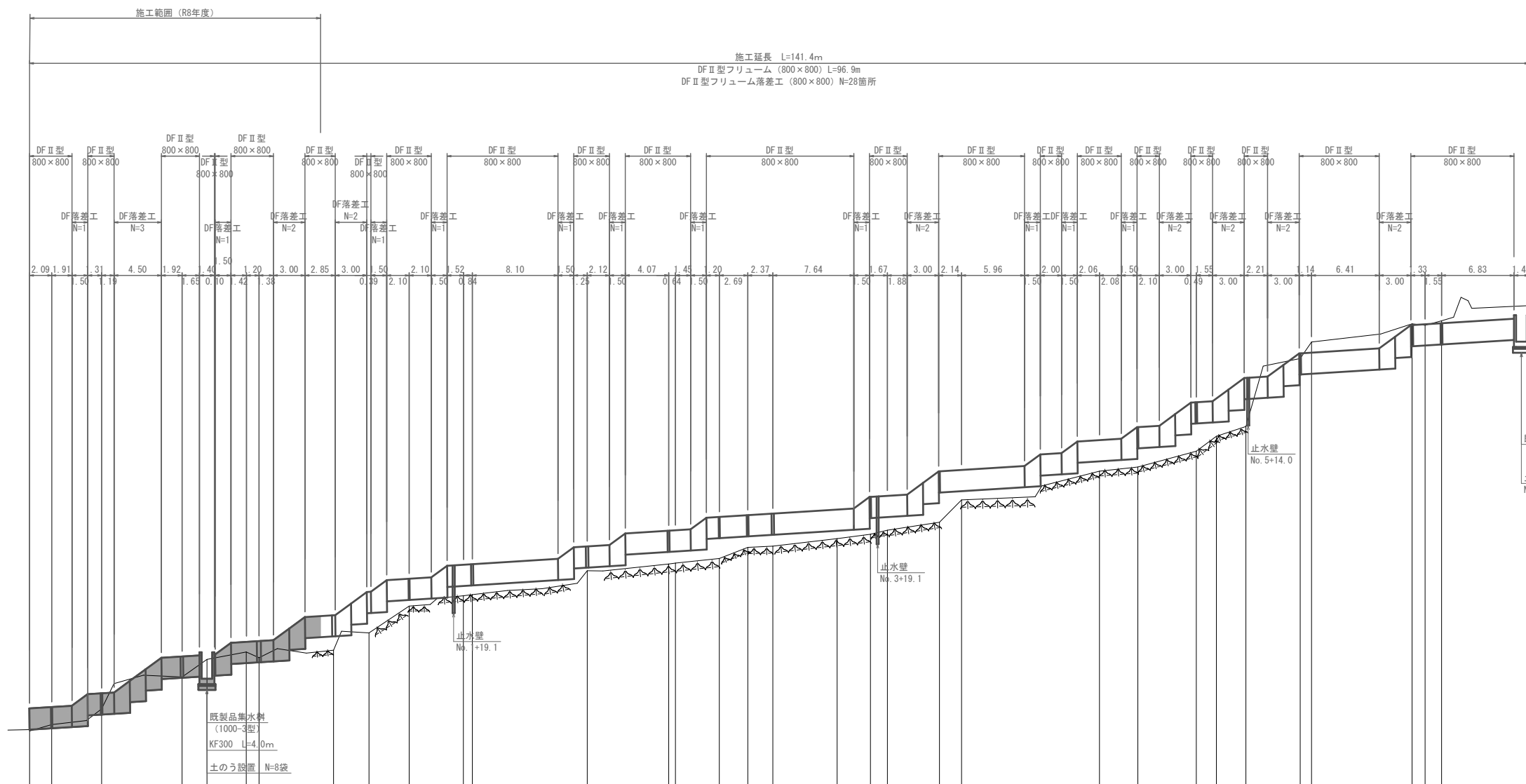
東広島市



S=1:250



図面番号	1/5	縮尺	S=1:250
工種	小規模崩壊復旧事業		
種別	計画平面図	番号	1/1
路線名	正力地区		
工事箇所	東広島市八本松町正力 地内		
東広島市			

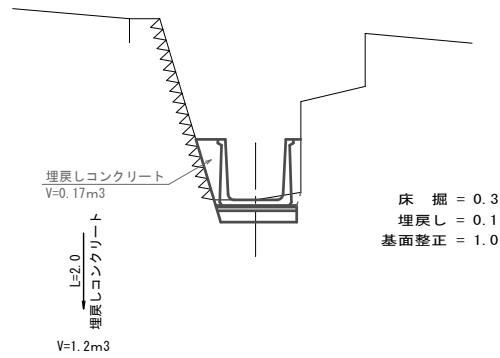


勾配	287.23		N=1/40.0 L=141.42m		270.77 281.97	
盛土						
切土						
計画高	No. 0	0.00	287.23	287.23		
河床高	M1	2.99	287.42			
追加距離	M2	4.71	288.01			
単距離	M3	7.21	289.22			
測点	No. 1	3.71	270.16	289.74		
曲線	M4	6.80	270.23			
	M5	3.35	270.88			
	M6	3.79	271.90			
	No. 2	5.11	272.29	272.65		
	M8	10.84	273.23			
	M9	7.68	273.48	273.95		
	M10	4.14	273.69			
	M11	2.69	274.11			
	M12	2.37	274.15			
	M12-1	6.06	274.44			
	M13	3.14	274.60			
	No. 4	1.60	274.76	275.25		
	M14	4.91	275.05			
	No. 4-1	2.09	275.90	276.23		
	No. 5	13.00	276.99	277.35		
	M15	3.62	277.14			
	M16	5.52	277.74			
	No. 5-1	1.89	278.00	278.83		
	M17	2.78	278.67			
	M18	5.13	281.23			
	No. 6	1.08	281.68	280.65		
	M19	0.40	282.54			
	M20	1.65	282.49	281.72		
	No. 7	0.23	283.23	281.97		

図面番号	2/5	縮尺	V=1:100 S=1:250
工種	小規模崩壊地復旧事業		
種別	縦断面図	番号	1/1
路線名	正力地区		
工事箇所	東広島八本松町正力 地内		
東広島市			

DL=270.0

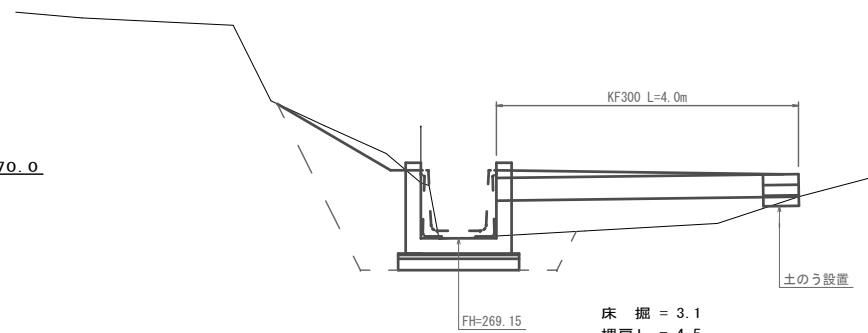
D=16.40
No. 0
GH=267.23
FH=267.23



床掘 = 0.3
埋戻し = 0.1
基面修正 = 1.0

D=3.60
No. 0+16.4
GH=269.89
FH=269.25

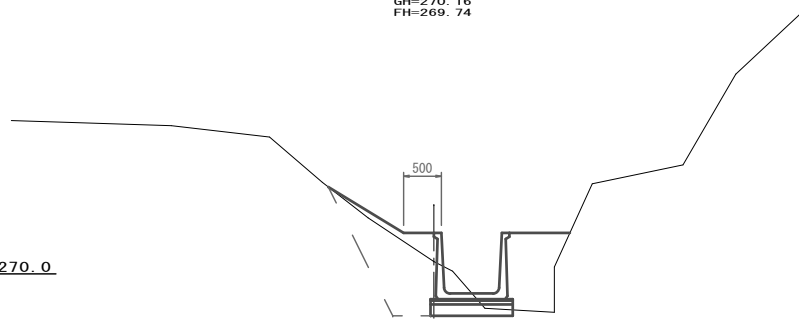
DL=270.0



床掘 = 3.1
埋戻し = 4.5
基面修正 = 1.1

D=20.00
No. 1
GH=270.16
FH=269.74

DL=270.0

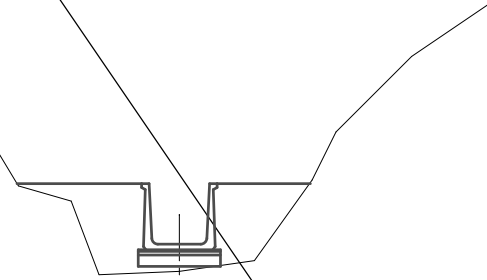


床掘 = 1.3
埋戻し = 1.8
基面修正 = 1.1

床掘 = -
埋戻し = 2.0
基面修正 = -

D=20.00
No. 2
GH=272.29
FH=272.65

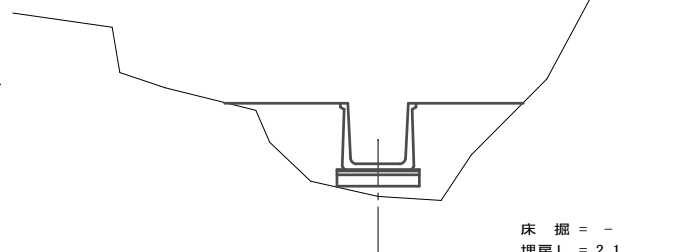
DL=275.0



床掘 = -
埋戻し = 2.0
基面修正 = -

D=20.00
No. 3
GH=273.52
FH=273.95

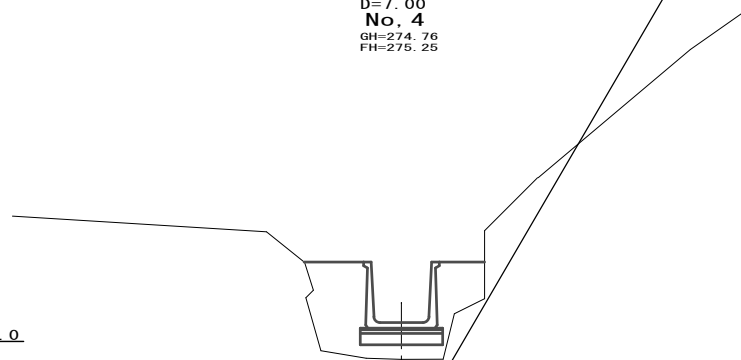
DL=275.0



床掘 = -
埋戻し = 2.1
基面修正 = -

D=7.00
No. 4
GH=274.76
FH=275.25

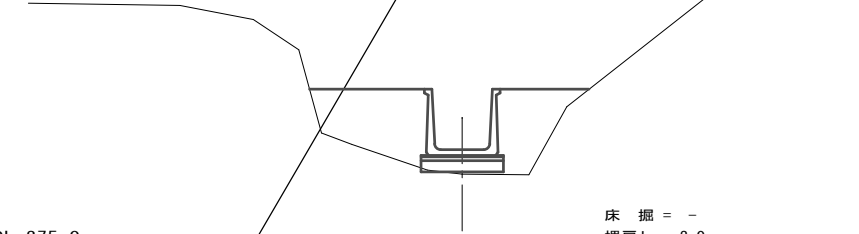
DL=275.0



床掘 = -
埋戻し = 1.5
基面修正 = -

D=13.00
No. 4+7.0
GH=275.91
FH=276.23

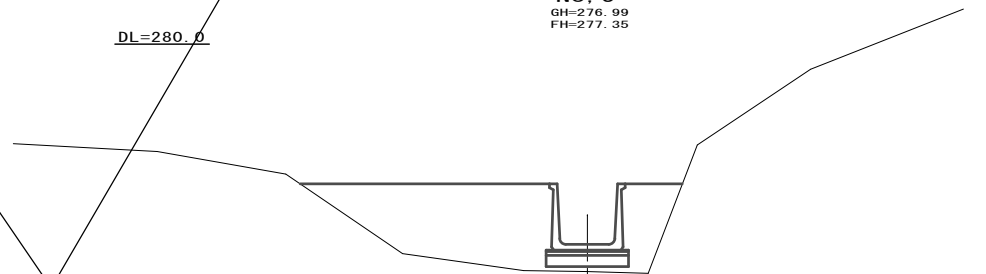
DL=275.0



床掘 = -
埋戻し = 2.0
基面修正 = -

D=11.00
No. 5
GH=276.99
FH=277.35

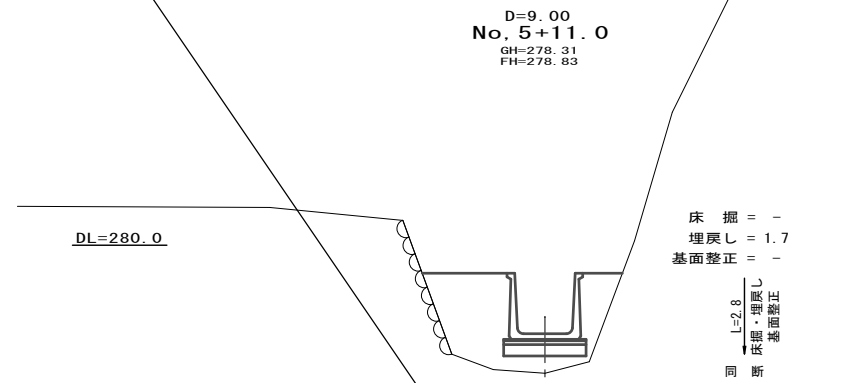
DL=280.0



床掘 = -
埋戻し = 3.4
基面修正 = -

D=9.00
No. 5+11.0
GH=278.31
FH=278.83

DL=280.0



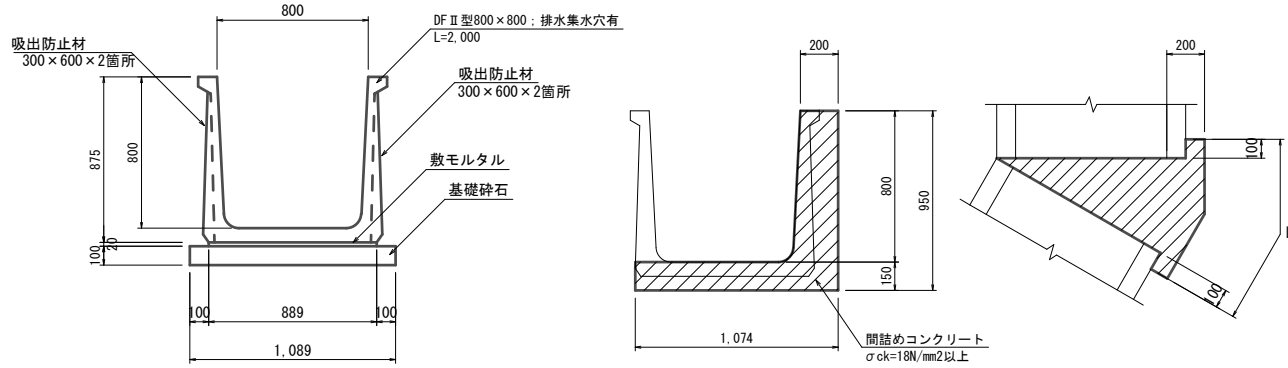
床掘 = -
埋戻し = 1.7
基面修正 = -

原図 A1サイズ
A3印刷時 縮小率50%

図面番号	3/5	縮尺	S=1:50
工種	小規模崩壊復旧事業		
種別	計画横断面図	番号	
路線名	正力地区		
工事箇所	東広島市八本松町正力 地内		
東広島市			

DF II 型フリーム
S=1:20

接続部



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量
DF II型	B800×H800	個	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.178
基礎砕石	RC-40	m ²	10.890
吸出防止材	300×600	m ²	3.600

材料表 10m当り

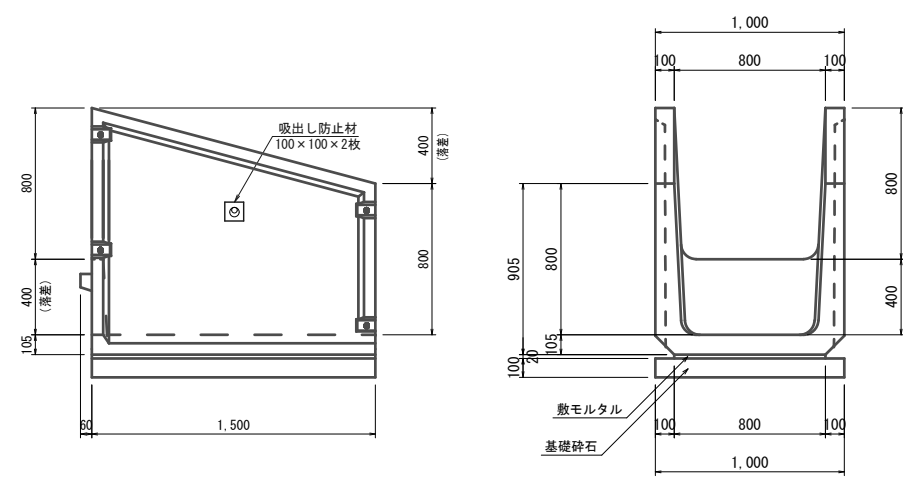
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm	m ³	3.211
型枠	小型構造物	m ²	9.50

DF II 型フリーム落差工

B800×H800 S=1:20

側面図

正面図

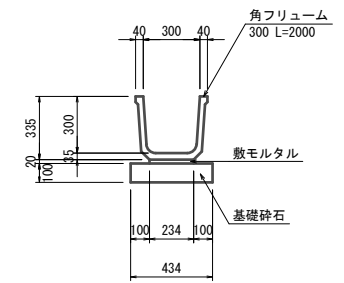


材料表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
DF II型落差	B800×H800	個	1.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.024
基礎砕石	RC-40	m ²	1.500
吸出防止材	100×100	m ²	0.020

角フリーム

KF-300 S=1:20



材料表 10m当り

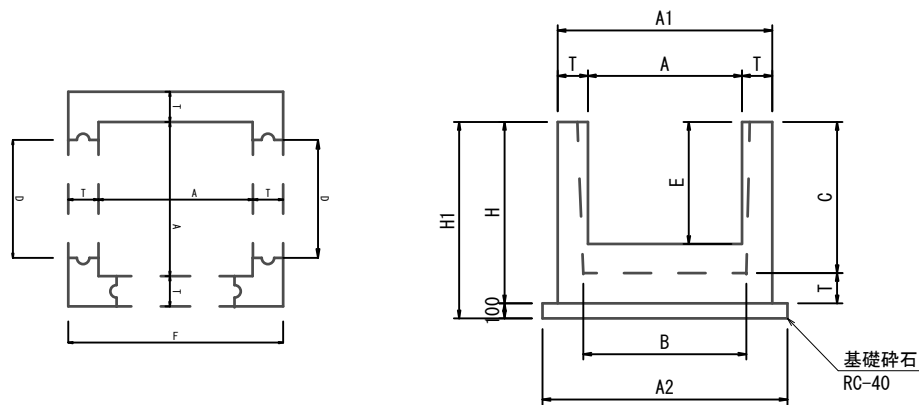
名称	規格	単位	数量
DF II型	B800×H800	個	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.047
基礎砕石	RC-40	m ²	4.340

既製品集水桝

S=1:25

平面図 (1000-3型)

主流入口正面図



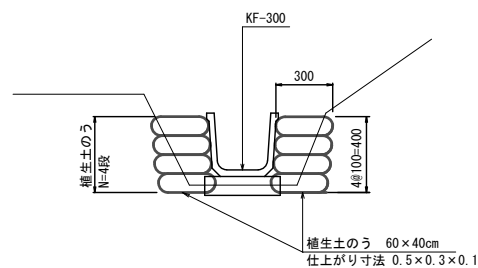
既製品水槽工寸法表 1箇所当たり

名称	寸法											
	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	T (mm)	A1 (mm)	H (mm)	F (mm)	A2 (mm)	A3 (mm)	H1 (mm)
1000-3	1020	980	1000	950	900	200	1420	1200	1420	1620	2420	1300

土のう設置

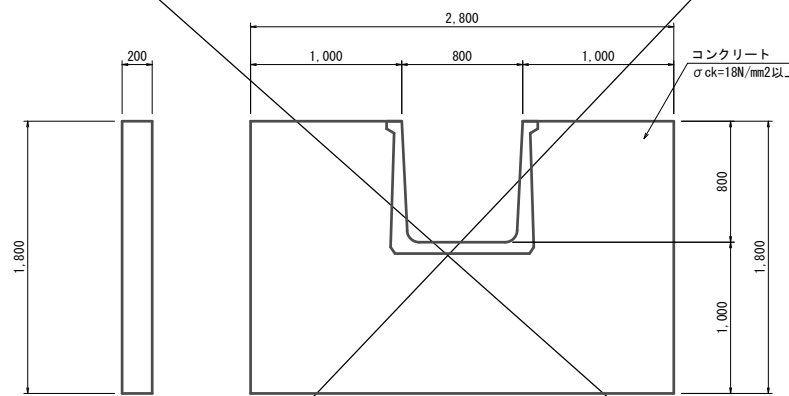
S=1:20

No. 0+16.4 A-A断面



止水壁工

S=1:25

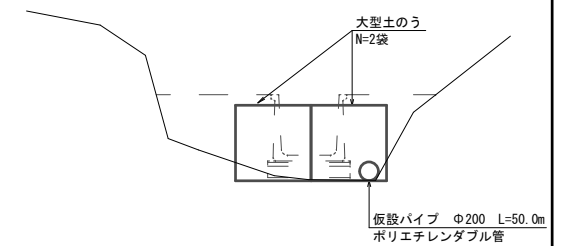


材料表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm	m ³	0.880
型枠	小型構造物	m ²	9.52

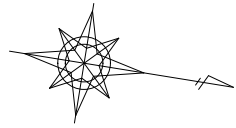
仮排水工

S=1:50



原図 A1サイズ
A3印刷時 縮小率50%

図面番号	4/5	縮尺	図示
工種	小規模崩壊復旧事業		
種別	構造図	番号	1/1
路線名	正力地区		
工事箇所	東広島市八本松町正力 地内		
東広島市			

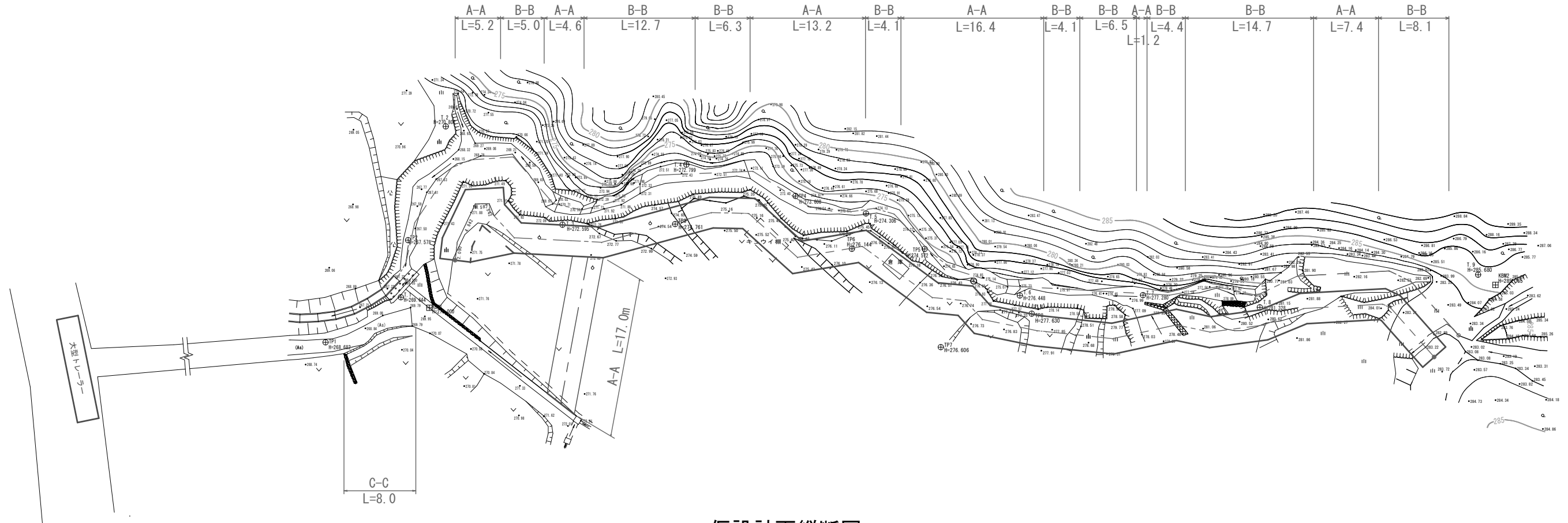


S=1:250

施工範囲 (R8年度)

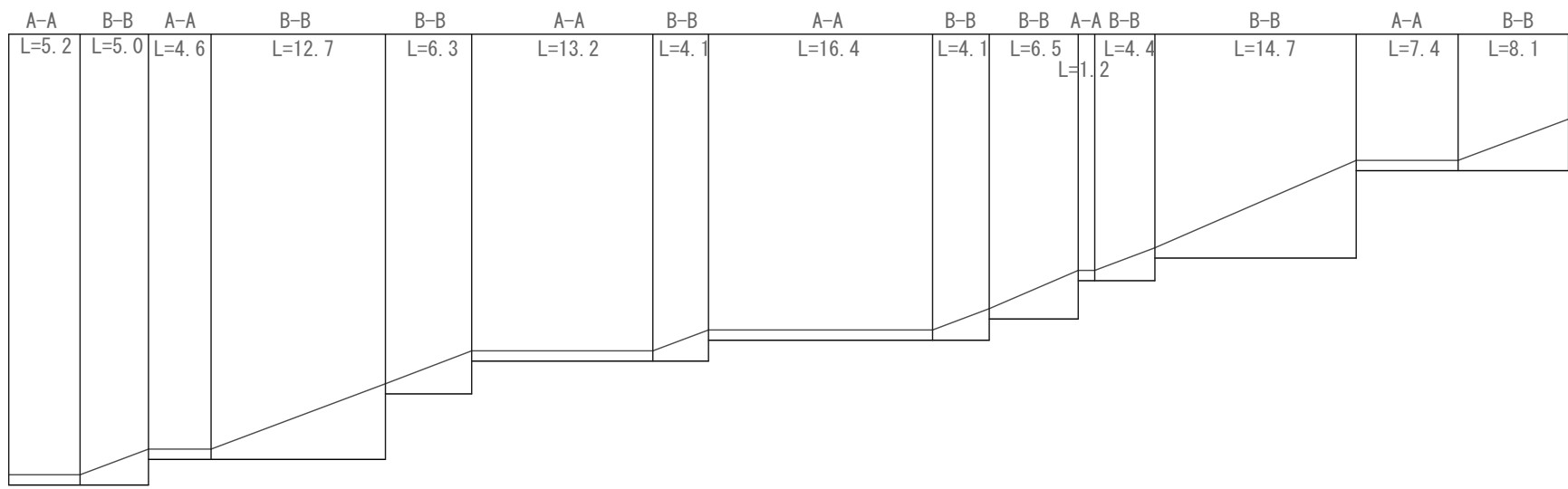
仮設計画平面図

S=1:250



仮設計画縦断図

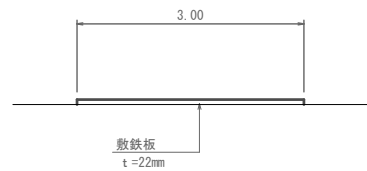
施工範囲 (R8年度)



標準断面図

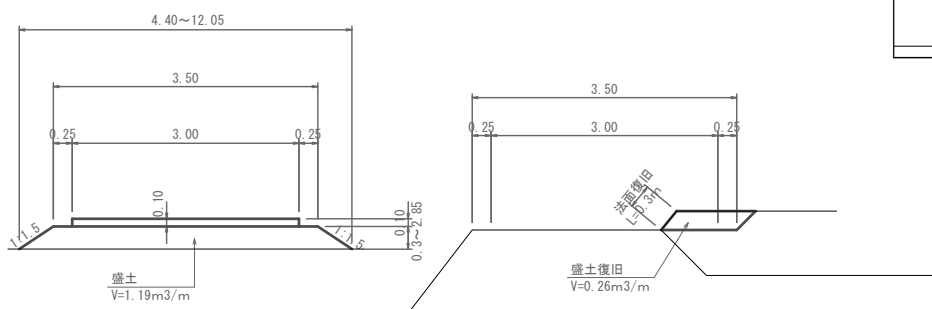
S=1:50

A-A区間



B-B区間

C-C区間



【参考図】

原図 A1サイズ
A3印刷時 縮小率50%

図面番号	5/5	縮尺	図示
工種	小規模崩壊復旧事業		
種別	仮設計画図	番号	
路線名	正力地区		
工事箇所	東広島市八本松町正力 地内		
東広島市			

参 考 図 書

工事名称 : 令和7年度 小規模崩壊地復旧事業

原地区ほか流末水路設置工事

<注意事項>

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分再起一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

施工箇所	種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
原	砂・砂質土・ 礫質土	黒瀬再資源利用 センター(株)	東広島市黒瀬町大多田 字大十田 302-52	7.4km

当該工事により発生する伐採木は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

施工箇所	種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
原	竹	三好林業(有)	東広島市高屋町造賀 17390-2	18.7km
	竹根	三好林業(有)	東広島市高屋町造賀 17390-2	18.7km
	伐採木	(有)クリーンリサイクル	東広島市黒瀬町宗近柳国 649	12.6km
	根株	(有)クリーンリサイクル	東広島市黒瀬町宗近柳国 649	12.6km
正力	伐採木	賀茂地方森林組合賀茂 バイオマスセンター	東広島市河内町戸野字金堀 575-1	17.9km
	根株	(有)クリーンリサイクル	東広島市黒瀬町宗近柳国 649	17.6km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 44 東広島市 00-08.03.01(0) B 公共 (R01.06~)		
	当世代	前世代	
	工種区分 03 治山・地すべり工事 復興補正区分 00 補正なし 施工地域・工事場所区分 00 補正なし 週休補正区分 03 4週8休以上 緊急工事補正区分 00 通常工事 積雪寒冷地補正 00 補正なし 前払率(%) 40 契約保証費区分 01 0.04% 工事費端数区分 01 千円未満切捨て ICT補正区分 00 補正なし		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費 原地区						
流路等						レベル1
治山土工	1		式			レベル2
補足土	1		式			レベル3
補足土 再生土	1		式			レベル4
購入土 再生土 黒瀬再資源利用センター L=7.4km	8		m3			00
整形仕上げ工	8		m3			単第0 -0001 表 レベル3
法面整形（盛土部）	1		式			レベル4
	42		m2			
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	42		m2			00
	42		m2			単第0 -0003 表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
法面工 張りコンクリート	4.4		m2						レベル4	
張りコンクリート(防草コンクリート) 防草コンクリート Co厚さ70mm 18-8-40BB	4.4		m2						00	
流路工									単第0 -0004 表 レベル2	
作業土工	1			式					レベル3	
床掘り	1			式					レベル4	
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	74		m3						00	
埋戻し	74		m3						単第0 -0005 表 レベル4	
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	72		m3						00	
水路工	72		m3						単第0 -0006 表 レベル3	
	1			式						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
角フリューム設置工 KF500 L=2.0	48.1		m						レベル4	
角フリューム設置工 KF500	48.1		m						00	
角フリューム落差工 KD500 L=1.5	5		個						単第0 -0007 表 レベル4	
角フリューム落差工 KD500 L=1.5	5		個						00	
集水枡 既設集水枡 1000-2型 縞鋼板蓋含む	1		箇所						単第0 -0009 表 レベル4	
集水枡 既製品集水枡 1000-2型 縞鋼板蓋あり	1		箇所						00	
間詰めコンクリート	2.7		m						単第0 -0011 表 レベル4	
間詰めコンクリート	2.7		m						00	
巻立コンクリート1号	1		箇所						単第0 -0015 表 レベル4	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
巻立コンクリート1号									00	
	1			箇所					単第0 -0018 表	
巻立コンクリート2号									レベル4	
	1			箇所						
巻立コンクリート2号									00	
	1			箇所					単第0 -0019 表	
付帯工									レベル3	
	1			式						
撤去工 高密度ポリエチレン管 500 54kg/本 (13.5/m)									レベル4	
	10			m						
暗渠排水管 撤去 波状管 450~600mm									00	
	10			m					単第0 -0020 表	
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊 片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)									00	
	0.14			t					単第0 -0021 表	
処分費等(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる										
処分費 硬質塩化ビニル管									00	
	0.14			t						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
止水壁									レベル4	
	2			箇所						
止水壁									00	
	2			箇所					単第0 -0022 表	
角フリューム蓋 KF500用 L=0.5m									レベル4	
	4			枚						
蓋版 蓋版(各種) 40<重量 170									00	
	4			枚					単第0 -0023 表	
角フリューム設置工 KF250									レベル4	
	2			m						
角フリューム設置工 KF250									00	
	2			m					単第0 -0024 表	
ふとんカゴ設置工 1200×500×1000									レベル4	
	2			m						
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm									00	
	2			m					単第0 -0026 表	
仮設工									レベル3	
	1			式						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設盛土 W=4.0m	1	式			レベル4
購入土 再生土 黒瀬再資源利用センター L=7.4km	127	m3			00 単第0 -0001 表
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	95	m3			00 単第0 -0027 表
砂利路盤工(機械・人力) 小型バックホウ・敷均し 舗装面仕上げ無し	116	m2			00 単第0 -0028 表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	107	m3			00 単第0 -0030 表
暗渠排水管 据付・撤去 波状管 700~1,000mm ダブル 合成樹脂排水材 呼び径700mm	6	m			00 単第0 -0031 表
大型土のう製作・設置(BH設置)	34	袋			00 単第0 -0032 表
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m H 2m	34	袋			00 単第0 -0034 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	107	m3			00 単第0 -0002 表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など 処分費等（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
受入費 土砂 黒瀬再資源利用センター L=7.4km	107	m3			00
大型土のう移設					レベル4
	34	袋			
大型土のう移設(撤去・再設置) 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m H 2m	34	袋			00
復旧工					単第0 -0036 表 レベル4
	1	式			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	0.2	m3			00
					単第0 -0038 表
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	35	m2			00
					単第0 -0039 表
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	35	m2			00
					単第0 -0040 表
水替工					レベル4
	1	式			

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土のう締切工									00	
	0.3		m	2					単第0 -0041 表	
ポンプ据付撤去（小口径） ポンプ口径 50mm									00	
	1		台						単第0 -0042 表	
水替工（小口径） 排水量_0m3/h以上7m3/h未満 作業時排水									00	
	8		日						単第0 -0043 表	
直接工事費										
準備費										
準備費										レベル2
	1		式							
準備費										レベル3
	1		式							
伐開除根										レベル4
	0.02		ha							
人力刈払 チェーンソー 樹量区分40.1～80(本・m/10a)									00	
	0.02		ha						単第0 -0045 表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
集積									レベル4	
人力刈払後の集積	0.2		a						00	
運搬	0.2		a						単第0 -0046 表	
竹									レベル4	
運搬（伐開・除根・除草）伐採木 運搬距離18.7km 三好林業	20		m3						00	
運搬	20		空m3						単第0 -0048 表	
竹根									レベル4	
運搬（伐開・除根・除草）伐採木 運搬距離18.7km 三好林業	10		m3						00	
運搬	10		空m3						単第0 -0048 表	
伐採木									レベル4	
運搬（伐開・除根・除草）根株 運搬距離12.6km （株）クリーンリサイクル	10		m3						00	
運搬	10		空m3						単第0 -0050 表	
根株									レベル4	
	3		m3							

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
受入費 伐採木 (株)クリーンリサイクル	10	m3			00
処分費 根株	3	m3			レベル4
処分費等（準備費計上分） 「処分費等」の取扱いによる					
受入費 竹 (株)クリーンリサイクル	3	m3			00
共通仮設費率 分額					
共通仮設費計					
(純工事費)					
現場管理費					
(工事原価)					

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
工事価格計						
消費税相当額計						
請負工事費計						

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0002 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90% 材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,287.8000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

法面整形

SPK25040025

単第0 -0003 表

盛土部 法面締固め無し 現場制約無し

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

1

m2 当り

機械構成比: 11.87% 労務構成比: 75.95%

材料構成比: 12.18%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

453.5800

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	11.87%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.18%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

張りコンクリート(防草コンクリート)

防草コンクリート Co厚さ70mm

18-8-40BB

単第0 -0004 表

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
普通作業員	3.200	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	8.470	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	8.470	m3			
諸雑費	3.0	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
A=1 施工幅 1.0m以下 C=1 - F=70 コンクリート厚さ(mm)			B=2 施工高さ 0m以上1.0m以下 D=1 18-8-40BB G=2 小型車割増有		

施工単価表

床掘り

SPK25040015

単第0 -0005 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 18.73%

労務構成比: 74.16%

材料構成比: 7.11%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,247.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0006 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

労務構成比:

87.15%

材料構成比:

3.98%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

4,063.8000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0026

プレキャスト集水桝

SPK25040096

単第0 -0012 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)2200kgを超え2800kg以下

1

基 当り

機械構成比: 7.08%

労務構成比:

90.38%

材料構成比:

2.54%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

20,672.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m3(平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.53%		<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m3(平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音		KTPC00038 KTPT00038
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	31.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	18.17%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	14.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.47%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0031

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0016 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

労務構成比:

37.14%

材料構成比: 59.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

37,478.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK25040159

単第0 -0017 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,147.6000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK25040411

単第0 -0021 表

クレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊

片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 17.30% 労務構成比:

78.90% 材料構成比: 3.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,845.7000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	17.30%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	39.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	39.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=14 クレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊 片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0042

ふとんかご

SPK25040131

単第0 -0026 表

設置

階段式 高さ50cm×幅120cm

1

m 当り

機械構成比: 5.35%

労務構成比: 33.16%

材料構成比: 61.49%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

16,637.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3	5.35%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00152 MTPT00152
普通作業員	18.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	5.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	4.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
角形じゃかごパネルタイプ GS-3,線径4.0(#8) 網目13cm,高さ50cm,幅120cm	29.14%		ふとんかご角形パネルタイプ GS-3線径4.0mm(#8)網目13cm,50cm×120cm		TTPC00036 TTPT00036
割ぐり石 200~150mm	23.46%		詰石割栗石 150-200mm		TTPC00007 TTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.23%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

路体(築堤)盛土
施工幅員4.0m以上

SPK25040004

単第0 -0027 表

施工数量20,000m3未満 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 17.31% 労務構成比:

67.71% 材料構成比: 14.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

240.2900

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	10.87%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.44%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.57%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.98%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

施工単価表

掘削

SPK25040001

単第0 -0030 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 26.01% 労務構成比:

62.89%

材料構成比: 11.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,241.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

暗渠排水管

SPK25040093

単第0 -0031 表

据付・撤去 波状管 700～1,000mm

ダブル 合成樹脂排水材 呼び径700mm

1

m 当り

機械構成比: 1.87% 労務構成比: 7.54%

材料構成比: 90.59%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,874.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t	1.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t		MTPC00175 MTPT00175
普通作業員	4.94%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	1.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	0.50%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <ダブル構造>内面平滑管(有孔・無孔) 呼び径700mm	90.07%		暗渠排水管 波状管 高密度ポリエチレン管(シングル構造) 呼び径800mm		TTPCD0623 TTPT00398
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.52%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=4 700～1,000mm F=2 継手材料費不要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=3 波状管 D=27 ダブル 合成樹脂排水材 呼び径700mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			1*0.294
特殊作業員	0.294	人			1*0.294
普通作業員	0.294	人			1*0.294
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	日			単第0-0033 表
諸雑費	1	%			
計	10	袋			
小計	1	袋			
A=1 1t土のう(丸型,径110cm×長108cm)					

施工単価表

路体(築堤)盛土
 施工幅員2.5m未満

SPK25040004

単第0 -0038 表

1
 m3 当り
 標準単価: 6,722.7000

機械構成比: 0.66% 労務構成比: 99.11% 材料構成比: 0.23% 市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.66%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.23%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

法面整形

SPK25040025

単第0 -0039 表

切土部 現場制約無し

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

1

m2 当り

機械構成比: 9.24%

労務構成比:

81.28%

材料構成比: 9.48%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

918.9700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	9.24%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	20.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

人工張芝
張芝 幅100cm ワラ付

SPK25040033

単第0 -0040 表

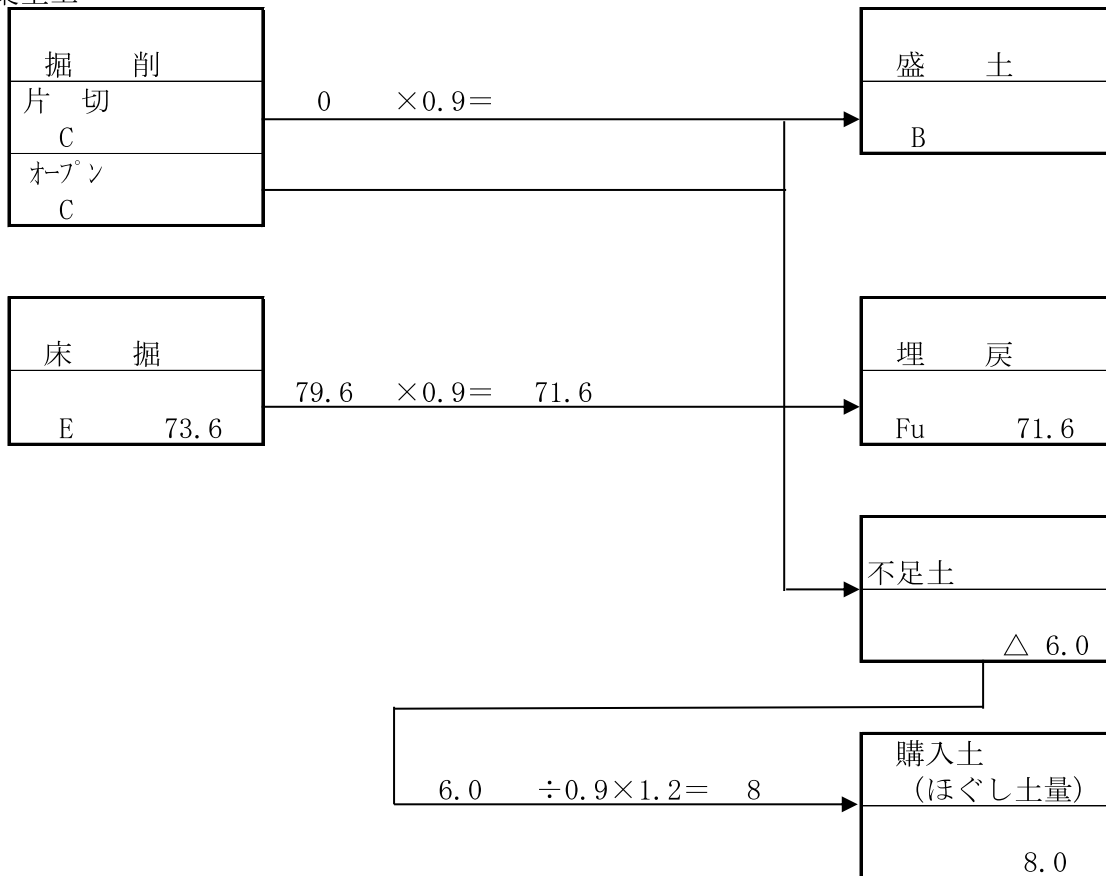
1
標準単価： m2 当り
761.9500

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 63.35% 材料構成比: 36.65% 市場単価構成比: 0.00%

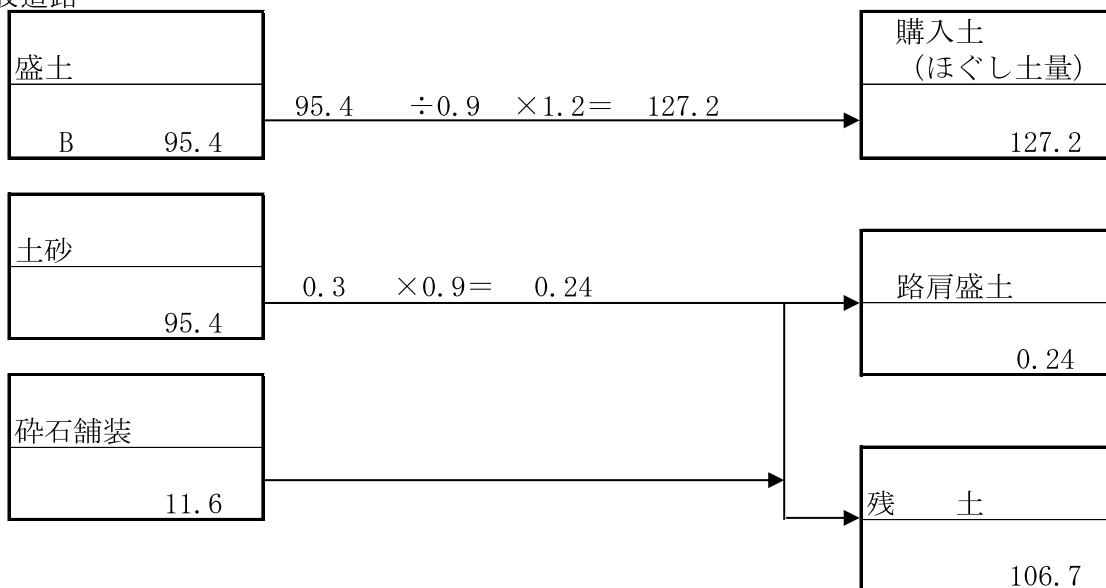
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	45.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.30%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
張芝 幅100cm, ワラ付	36.65%		張芝 幅100cm ワラ付		TTPC00274 TTPT00274
積算単価			積算単価		EP001
A=1 張芝 幅100cm ワラ付					

土 工 配 分 表

作業土工



仮設道路



計第 5 表

水路工

計 算 書

測 点	距 離	角フリューム		角フリューム落差工		KD500		集水柵		1000-2
				延 長			延 長			延 長
No. 0										
No. 0+2.6	2.60									
				9.2						
										1.0
No. 0+15.0	12.40			2.7						
No. 1	5.00			5.4						
				2.0						
							1.5			
No. 1+5.0	5.00			1.5						
				2.5						
							1.5			
				6.0						
							1.5			
No. 2	15.00			3.5						
				2.5						
							1.5			
				6.8						
							1.5			
No. 2+18.3	18.30			6.0						
合 計	m 58.30			m 48.1			m 7.5			m 1.0
							箇所 5.0		1.0 ÷ 1.0 =	箇所 1.0
						7.5 ÷ 1.5 =				

計第 6 表

水路工

計 算 書

測 点	距 離	間詰めコンクリート		巻立コンクリート		巻立コンクリート	
			KF500 延 長		1号 延 長	2号 延 長	
No. 0+10.0			0.30				
No. 0+12.6							0.20
No. 0+15.0			0.36				
No. 0+17.0					0.49		
No. 1+5.0			0.42				
No. 1+9.3			0.28				
No. 1+17.2			0.31				
No. 2+0.5			0.31				
No. 2+2.8			0.43				
No. 2+5.8			0.31				
合 計	m 0.00		m 2.72		m 0.49		m 0.20

計第 7 表

水路附帯工

計 算 書

測 点	距 離	止水壁		箇 所						
No. 1+7.0				1.0						
No. 2+7.0				1.0						
No. 1										
合 計				箇所 2.0						

計第 8 表

水路附帯工

計 算 書

測 点	距 離	集水柵蓋		縞鋼板 枚		角フリューム蓋		KF250 延 長		角フリューム KF250 延 長	
No. 0+12.2				2.0							
No. 0+14.3											2.0
No. 1								4.0			
合 計				枚 2.0				枚 4.0			m 2.0

計第 9 表

かご工

計 算 書

測 点	距 離	フトン箆								
		段	平 均	延 長						
No. 0+2.6		2.0	---	----						
	1.0	2.0	2.00	2.0						
合 計				m 2.0						

計第 10 表

法 面 工

計 算 書

測 点	距 離	盛土法面 (左岸) SL			盛土法面 (右岸) SL					
		法 長	平 均	面 積	法 長	平 均	面 積			
		0.5	---	----	0.5	---	----			
No. 0+15.0	2.1	1.0	0.75	1.6	1.6	1.05	2.2			
	2.0	0.5	0.75	1.5	0.5	1.05	2.1			
					0.0	---	----			
No. 1	3.2				0.3	0.15	0.5			
	2.0				0.7	0.50	1.0			
	1.5				0.3	0.50	0.8			
No. 1+5.0	1.5				0.7	0.50	0.8			
	2.5				1.0	0.85	2.1			
	1.5				0.5	0.75	1.1			
	6.0				1.4	0.95	5.7			
	1.5				0.9	1.15	1.7			
No. 2	3.6				1.0	0.95	3.4			
	2.4				1.4	1.20	2.9			
	1.5				0.8	1.10	1.7			
	6.9				1.5	1.15	7.9			
	1.5				0.9	1.20	1.8			
	6.0				0.3	0.60	3.6			
合 計				m2 3.1			m2 39.3			

計第 11 表

法面工 (張りコンクリート)

計 算 書

測 点	距 離	張りコンクリート (左岸) SL			張りコンクリート (右岸) SL					
		法 長	平 均	面 積	法 長	平 均	面 積			
		0.5	---	----	0.5	---	----			
No. 0+15.0	2.4	0.5	0.50	1.2	0.5	0.50	1.2			
	2.0	0.5	0.50	1.0	0.5	0.50	1.0			
合 計				m2 2.2			m2 2.2			

計第 14 表

仮設道路土工（撤去）

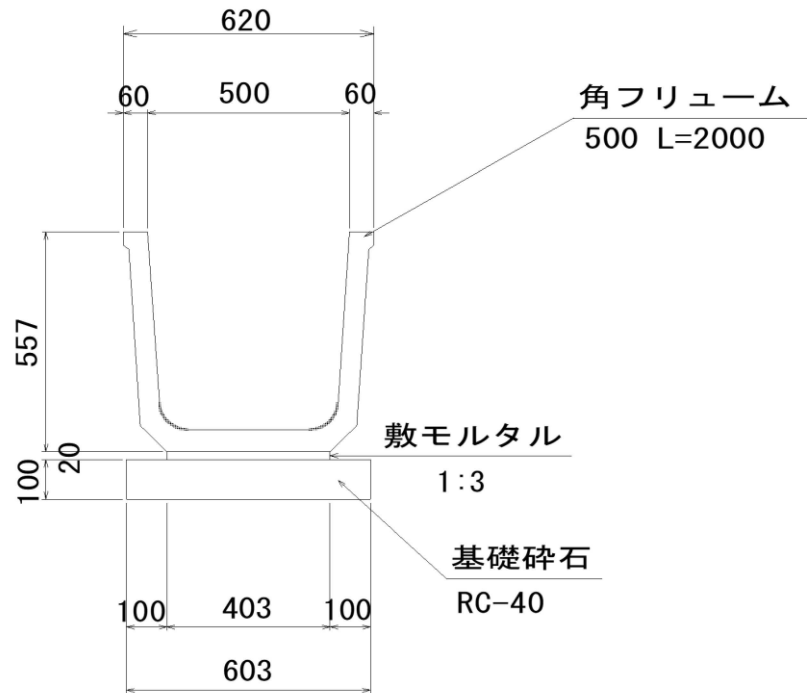
計 算 書

測 点	距 離	掘 削		オープン C 体 積	大型土のう撤去			ポリエチレン管		φ700 延長
		断面積	平 均		断面積	平 均	体 積			
設置の盛土量				95.4						6.0
碎石舗装		115.9	×0.1=	11.6						
							6袋*2箇所=		12.0	
							5袋*2箇所=		10.0	
							6袋*2箇所=		12.0	
合 計	m 0.0			m3 107.0				袋 34.0		m 6.0

単 位 数 量 計 算 書

角フリューム KF500

10m当り



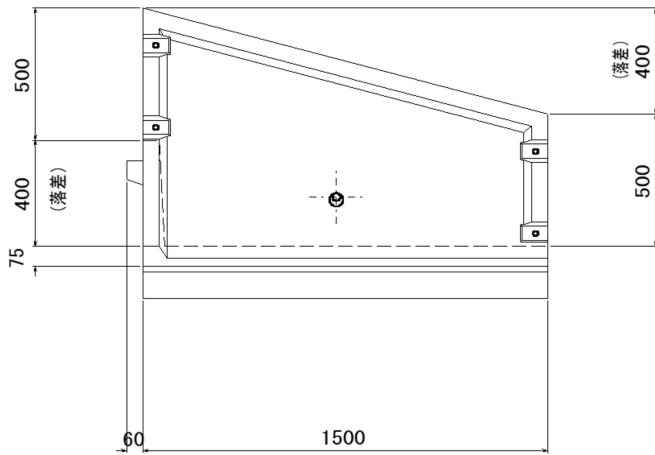
名 称	規 格	計 算 式	数 量
角フリューム	KF500	=	5.000 個
敷モルタル	1:3 t=2cm	$A = 0.403 \times 10.0$	= 4.030 m ²
		$V = 0.403 \times 0.02 \times 10.0$	= 0.081 m ³
基礎砕石	RC-40 t=10cm	$A = 0.603 \times 10.0$	= 6.030 m ²
		$V = 0.603 \times 0.10 \times 10.0$	= 0.603 m ³

単 位 数 量 計 算 書

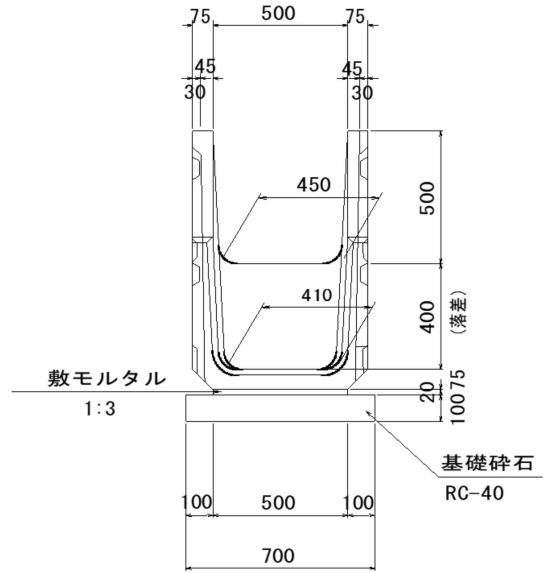
角フリューム落差工 KD500

1箇所当り

側 面 図



正 面 図

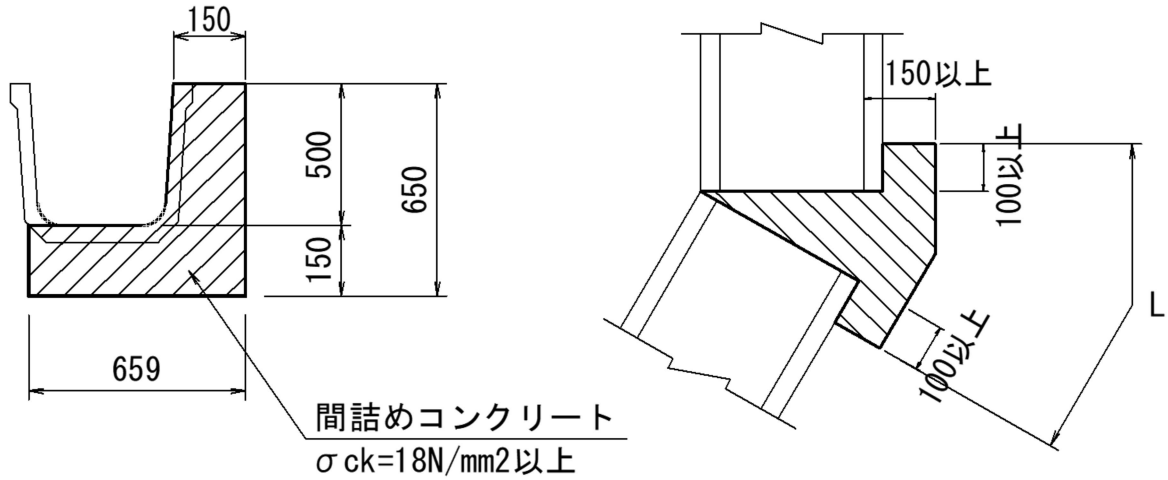


名 称	規 格	計 算 式	数 量
角フリューム落差工	KD500	=	1.000 個
敷モルタル	1:3	$A = 0.500 \times 1.50$	= 0.750 m ²
	t=2cm	$V = 0.500 \times 0.02 \times 1.50$	= 0.015 m ³
基礎砕石	RC-40	$A = 0.700 \times 1.50$	= 1.050 m ²
	t=10cm	$V = 0.700 \times 0.10 \times 1.50$	= 0.105 m ³

単 位 数 量 計 算 書

間詰めコンクリート
KF500用

10m当り

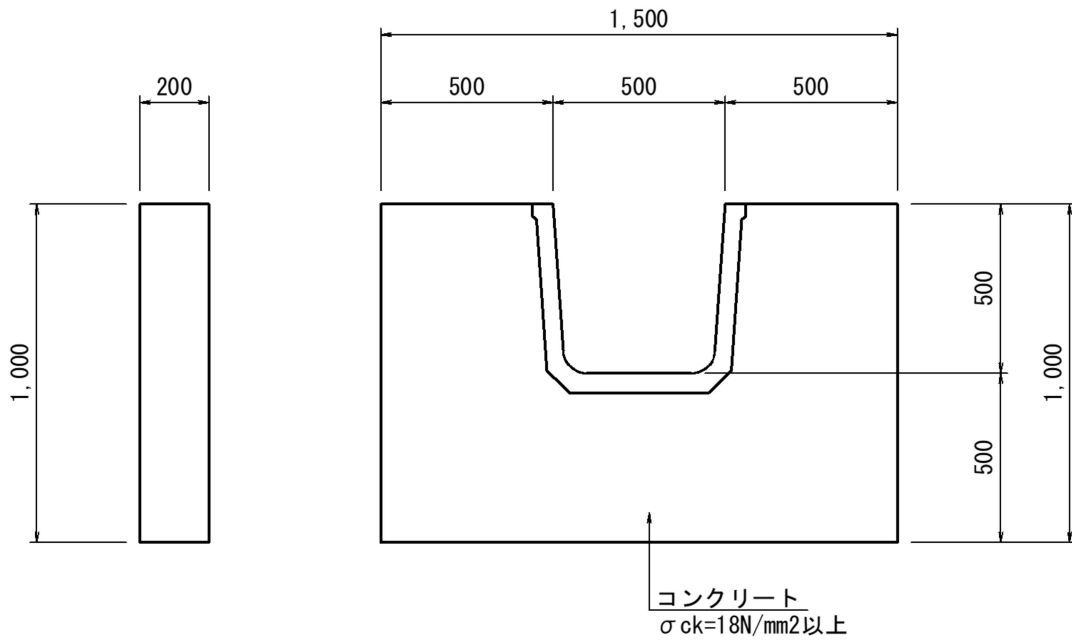


名 称	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = (0.15 \times 0.50 + 0.15 \times 0.659) \times 10.0$	= 1.739 m ³
型 枠	小型	$A = 0.650 \times 10.0$	= 6.500 m ²

単 位 数 量 計 算 書

止水壁

1箇所当り

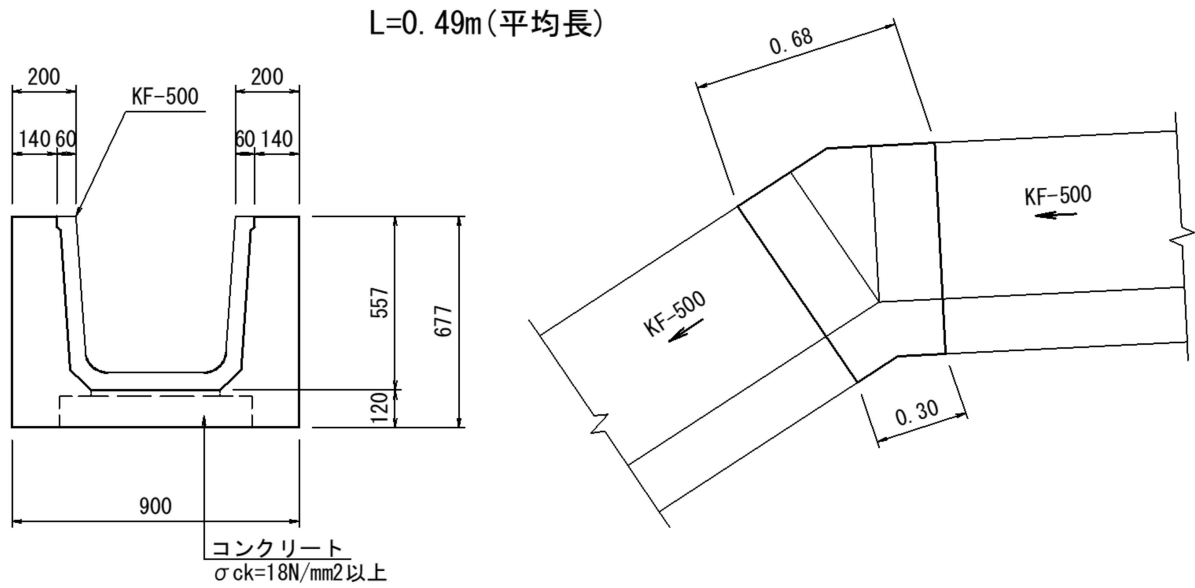


名 称	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート 型 枠	σ ck=18N/mm2 小型	$V = (1.50 \times 1.00 - 0.50 \times 0.50) \times 0.20 =$ $A = (1.50 \times 1.00 - 0.50 \times 0.50 + 0.20 \times 1.00) \times =$	<p>0.250 m³</p> <p>2.900 m²</p>

単位数計算書

巻立コンクリート1号

1箇所当り

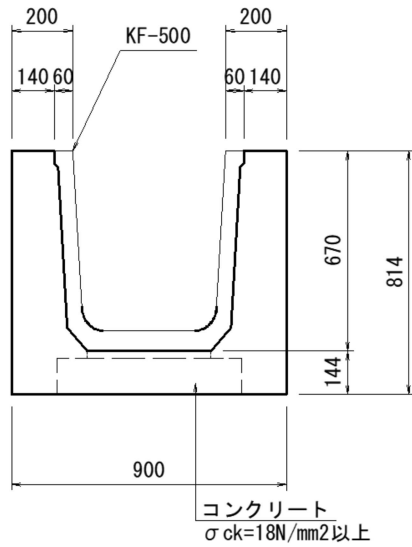


名称	規格	計 算 式	数 量
コンクリート	σ ck=18N/mm2	$V = (0.14 \times 0.557 \times 2 + 0.12 \times 0.900) \times 0.49 =$	0.129 m3
型 枠	小型	$A = (0.14 \times 0.557 \times 2 + 0.12 \times 0.900) \times 2 + 0.677 \times 0.49 \times 2 =$	1.191 m2

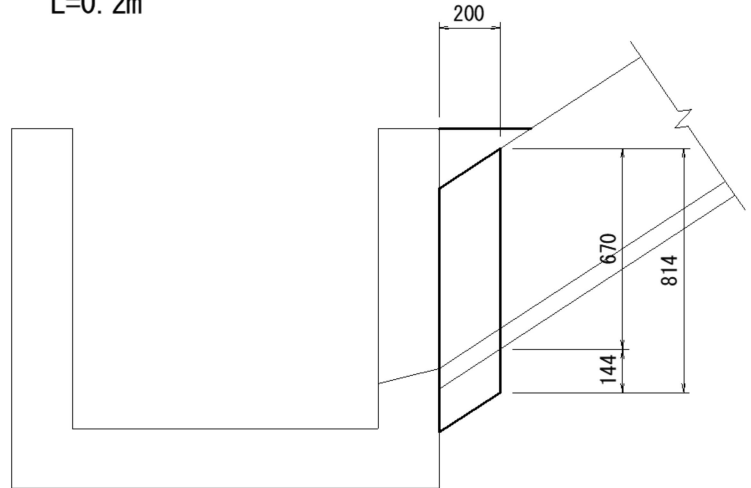
単 位 数 量 計 算 書

巻立コンクリート2号

1箇所当り



L=0.2m



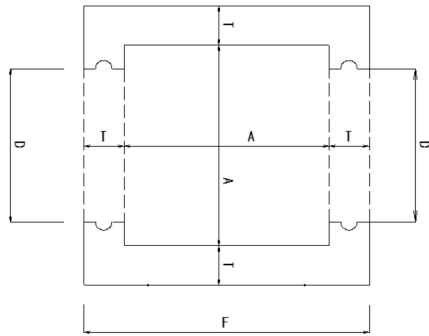
名 称	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	$V = (0.14 \times 0.670 \times 2 + 0.144 \times 0.900) \times 0.20 =$	0.063 m ³
型 枠	小型	$A = 0.14 \times 0.670 \times 2 + 0.144 \times 0.900 + 0.20 \times 0.814 \times 2 =$	0.643 m ²

単 位 数 量 計 算 書

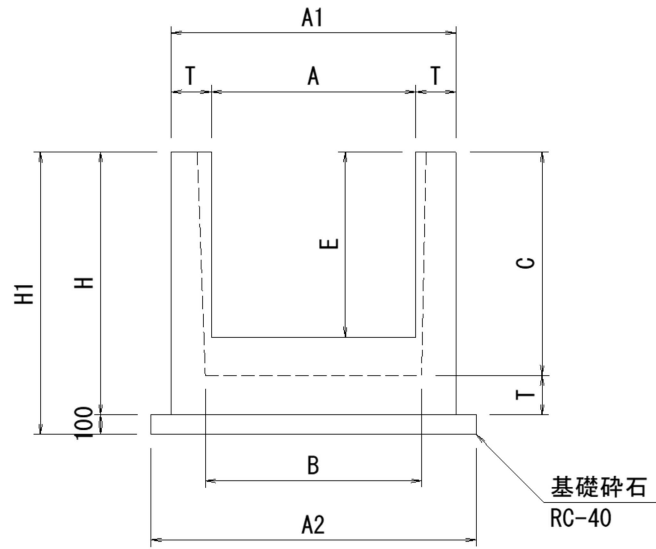
既設集水桝 (100-2型)

1箇所当り

平 面 図



主流入口正面図



既製品水槽工寸法表

箇所当り

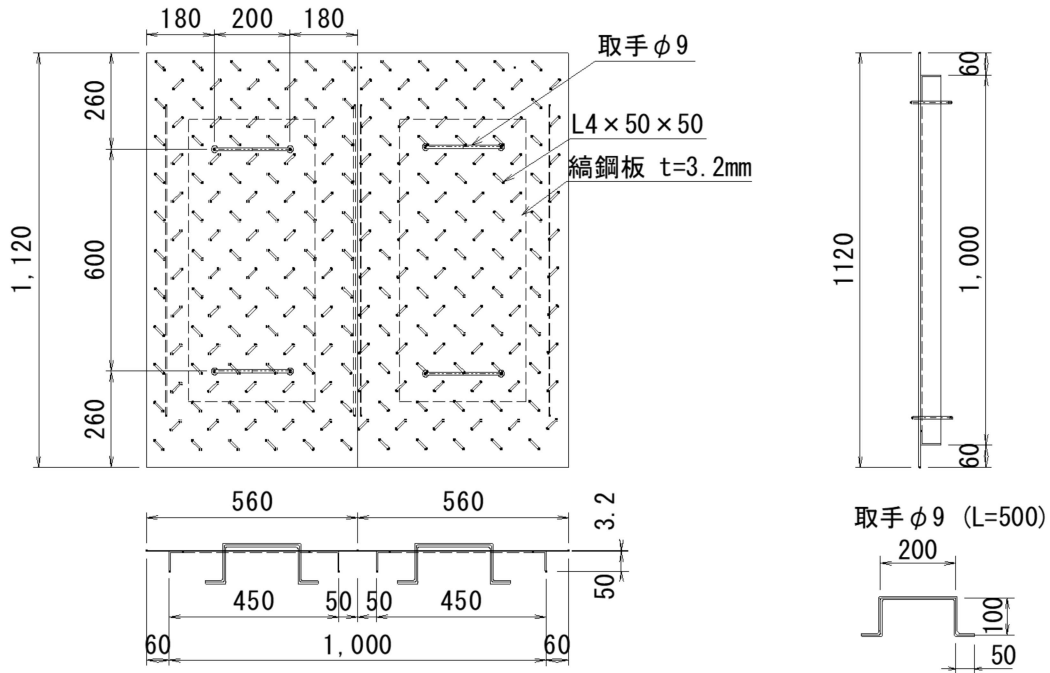
名 称	寸 法														
	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	T (mm)	A1 (mm)	H (mm)	F (mm)	A2 (mm)	s (mm)	A3 (mm)	H1 (mm)	F1 (mm)	F2 (mm)
1000-2	1020	980	1000	950	900	200	1420	1200	1420	1620	500	2420	1250	1620	2420

名 称	規 格	計 算 式	数 量
既製品集水桝	1000-2型	=	1.000 個
基 礎 碎 石	RC-40 t=10cm	$A = 1.620 \times 1.620$	= 2.624 m ²
		$V = 1.620 \times 1.620 \times 0.10$	= 0.262 m ³

単位数量計算書

角フリューム KF500

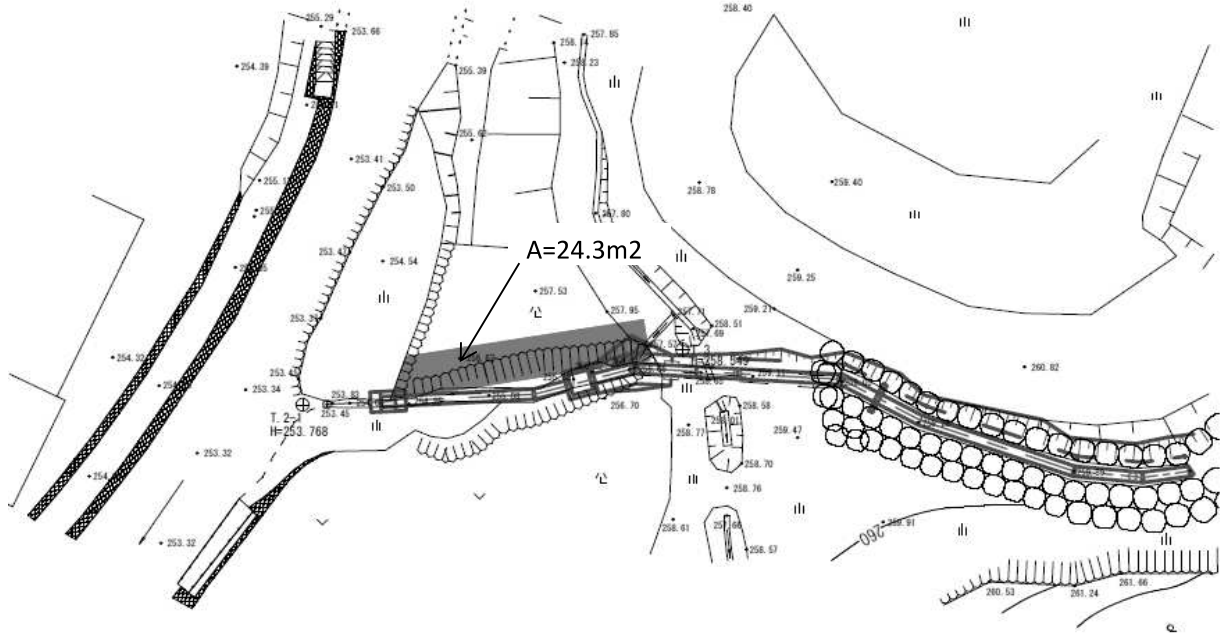
1箇所当り



名称	規格	計 算 式	数 量
縞鋼板	t=3.2mm	1.12×1.12	= 1.25 m ²
	26.8kg/m ²	1.25×26.8	= 33.50 kg
等辺山形鋼	1.36kg/m	$1.00 \times 1.36 \times 2$	= 2.72 kg
丸鋼	φ9	$(0.05+0.10+0.20+0.10+0.05) \times 4$	= 2.00 m
	1.04kg/m	2.00×1.04	= 2.08 kg
ガス切断		$1.12+0.56+1.12+0.56$	= 3.36 m
溶接	すみ肉溶接	1.00×2	= 2.00 m
蓋設置工			= 2.0 枚

単位数量計算書

伐採処分



名称	規格	計	算	式	数	量
伐採範囲		A=24.3	=		24.30	m2
伐採木 運搬処分	竹		=		20	m3
	竹根		=		10	m3
	伐採木		=		10	m3
	根株		=		3	m3

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 44 東広島市 00-08.03.01(0) B 公共 (R01.06~)		
	当世代	前世代	
工種区分 復興補正区分 施工地域・工事場所区分 週休補正区分 緊急工事補正区分 積雪寒冷地補正 前払率(%) 契約保証費区分 工事費端数区分 ICT補正区分	03 治山・地すべり工事 00 補正なし 00 補正なし 03 4週8休以上 00 通常工事 00 補正なし 40 01 0.04% 01 千円未満切捨て 00 補正なし		

本工事費

内訳表

本工事費	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	正力地区					
	流路等					レベル1
	流路工	1	式			レベル2
	作業土工	1	式			レベル3
	床掘り	1	式			レベル4
	床掘り 土砂 上記以外(小規模)	40	m3			00
	埋戻し	40	m3			単第0 -0001 表 レベル4
	埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	62	m3			00
	補足土	62	m3			単第0 -0002 表 レベル3
		1	式			

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
補足土 再生土	38		m	3					レベル4	
購入土 再生土 黒瀬再資源利用センター L=7.4km	38		m	3					00	
水路工									単第0 -0003 表 レベル3	
DF側溝設置工 B800*H800 L=2.0 型	17.4		m						レベル4	
DF側溝設置工 DF800	17.4		m						00	
DF側溝設置工 DF800	17.4		m						単第0 -0005 表 レベル4	
DF落差工 B800-H800-L1500	10			個					00	
DF落差工 DF800落差工	10			個					単第0 -0008 表 レベル4	
集水枡 1000-3型	1			箇所					00	
集水枡 既設集水枡	1			箇所					単第0 -0010 表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
間詰めコンクリート									レベル4	
	3.1		m							
間詰めコンクリート									00	
	3.1		m						単第0 -0012 表	
付帯工									レベル3	
	1		式							
角フリューム設置工 KF300									レベル4	
	4		m							
角フリューム設置工 KF300									00	
	4		m						単第0 -0015 表	
植生土のう工 製作・設置 小口並べ									レベル4	
	8		袋							
植生土のう工 製作・設置 仕上がり寸法 0.5×0.3×0.1									00	
	8		袋						単第0 -0017 表	
仮設工									レベル3	
	1		式							
仮設盛土工 W=4.0m									レベル4	
	1		式							

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
敷鉄板設置・撤去									00	
	80		m	2					単第0 -0027 表	
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 90日以内	162		枚	・	日				00	
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 整備費	18		枚						00	
直接工事費										
運搬費										
運搬費									レベル2	
	1		式							
運搬費									レベル3	
	1		式							
運搬費									レベル4	
	1		式							
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 5.1km 製品長 12m以内	1		式						00	
	1		式						単第0 -0029 表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計					
(純工事費)					
現場管理費					
(工事原価)					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格計					
消費税相当額計					

施工単価表

床掘り

SPK25040015

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,247.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0002 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

労務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,063.8000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0004 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,050.4000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=39 距離10.0km以下(7.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK25040096

単第0 -0011 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)2200kgを超え2800kg以下

1

基 当り

機械構成比: 7.08%

労務構成比:

90.38%

材料構成比:

2.54%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

20,672.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m3(平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.53%		<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m3(平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音		KTPC00038 KTPT00038
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	31.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	18.17%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	14.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.47%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0013 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

労務構成比:

37.14%

材料構成比:

59.44%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

37,478.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK25040159

単第0 -0014 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,147.6000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

路体(築堤)盛土
 施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPK25040004

単第0 -0018 表

1
 m3 当り
 標準単価: 857.6000

機械構成比: 15.30% 労務構成比: 76.16% 材料構成比: 8.54% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.01%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.29%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	67.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.54%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

掘削

SPK25040001

単第0 -0021 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 26.01% 労務構成比:

62.89%

材料構成比: 11.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,241.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			1*0.294
特殊作業員	0.294	人			1*0.294
普通作業員	0.294	人			1*0.294
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	日			単第0-0023 表
諸雑費	1	%			
計	10	袋			
小計	1	袋			
A=1 1t土のう(丸型,径110cm×長108cm)					

施工単価表

暗渠排水管

SPK25040093

単第0 -0026 表

据付・撤去 波状管 200～400mm

ダブル 合成樹脂排水材 呼び径200mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

11.39% 材料構成比: 88.61%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,307.3000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	7.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <ダブル構造>内面平滑管(有孔・無孔) 呼び径200mm	88.61%		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0258 TTPT00191
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=3 波状管 D=19 ダブル 合成樹脂排水材 呼び径200mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

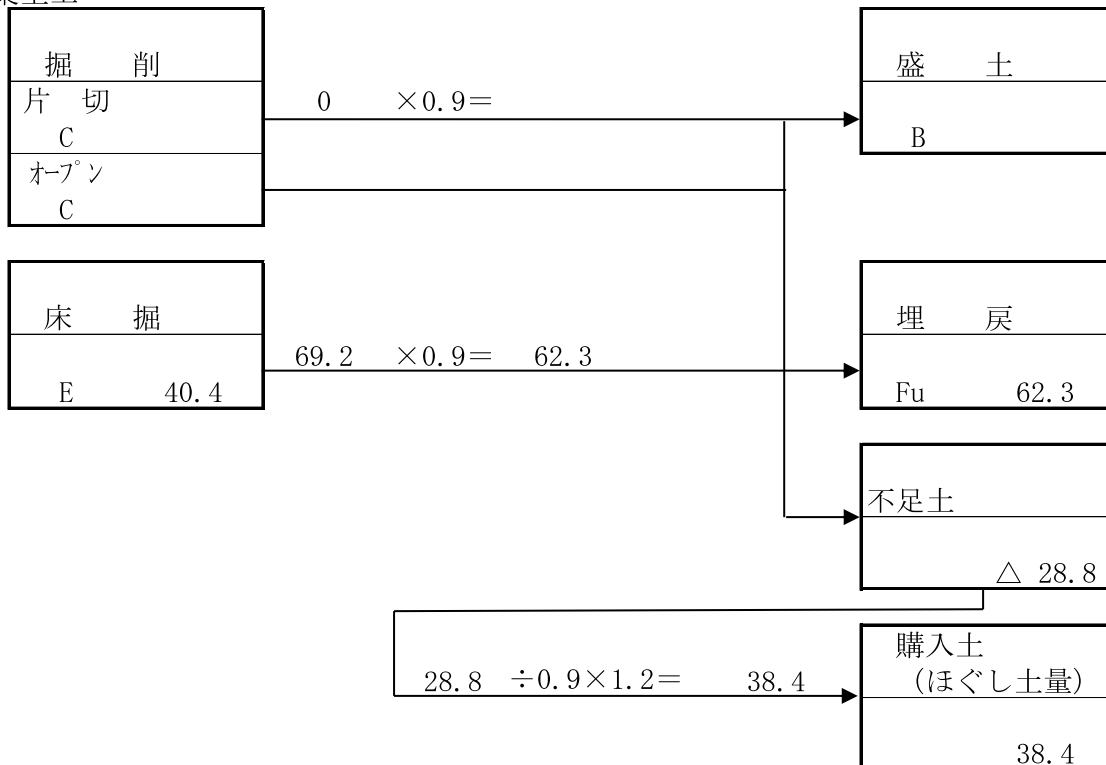
施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			
とび工	0.152	人			
普通作業員	0.152	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			単第0-0028 表
土木一般世話役	0.143	人			
とび工	0.143	人			
普通作業員	0.143	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			単第0-0028 表
諸雑費	1	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
A=1 設置・撤去					

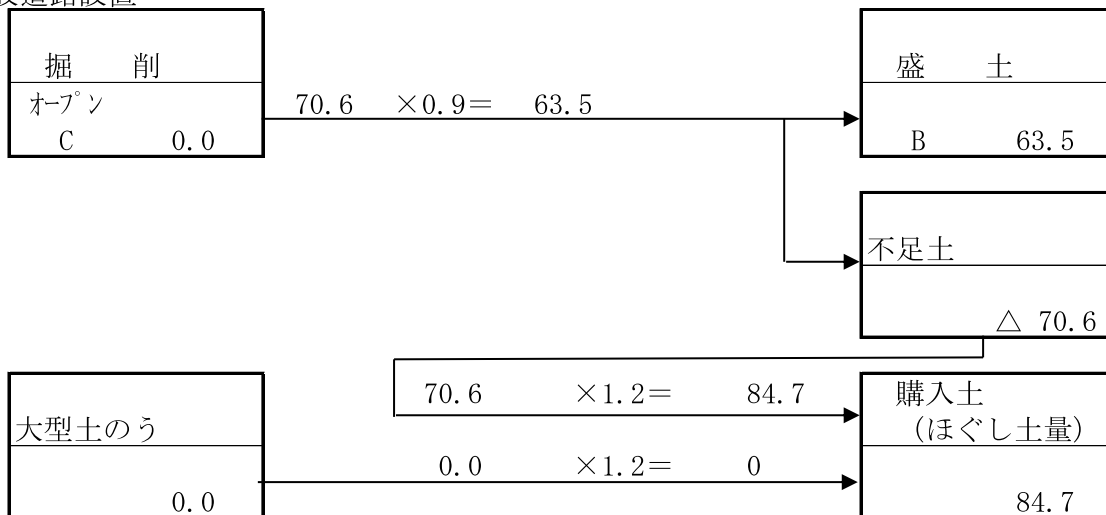
本 工 事 費 内 訳 表 (小規模崩壊復旧事業(正力地区))							
レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	算出数量	計上数量
水路改良							
	水路土工						
		作業土工	床 掘	床 掘	m3	40.4	40
			埋 戻	埋 戻	m3	62.3	62
			基面整正	基面整正	m2	25.1	25
		購入土	購入土	ほぐし土	m3	38.4	38
	水 路 工						
		開水路	DFⅡ型フリューム	B800×H800	m	17.4	17.4
			DFⅡ型フリューム 落差工	B800×H800	箇所	10.0	10
			既製品集水柵	1000-3型	箇所	1.0	1
			間詰めコンクリート	間詰めコンクリート	m	3.08	3.1
	水路附帯工						
		開水路	角フリューム	KF300	m	4.0	4.0
		土留め工	土のう設置	植生土のう	袋	8.0	8
	仮 設 工						
		仮設道路設置工	購入土	ほぐし土	m3	84.7	85
			盛 土	盛 土	m3	63.5	64
			碎石舗装	RC-40	m2	32.4	32.4
			掘 削	掘 削	m3	2.1	2
		仮排水	大型土のう設置	V= 0.6m3/袋	袋	2.00	2
			大型土のう撤去	V= 0.6m3/袋	袋	2.0	2
			暗渠排水管	ポリエチレン管φ250	m	50.0	50
		工事用道路	敷き鉄板	t=22, A=1.5×3.0	m2	80.4	80
					枚	18.0	18
					t	14.44	14.44
				供用日数	日	9.0	9
	準備工						
		伐採工	伐開除根	A=424.2m2	ha	0.042	0.04
			集積	A=424.2m3	a	4.2	4.2
		運搬処分	伐採木		m3	50.0	50.0
			根株		m3	15.0	15.0

土 工 配 分 表

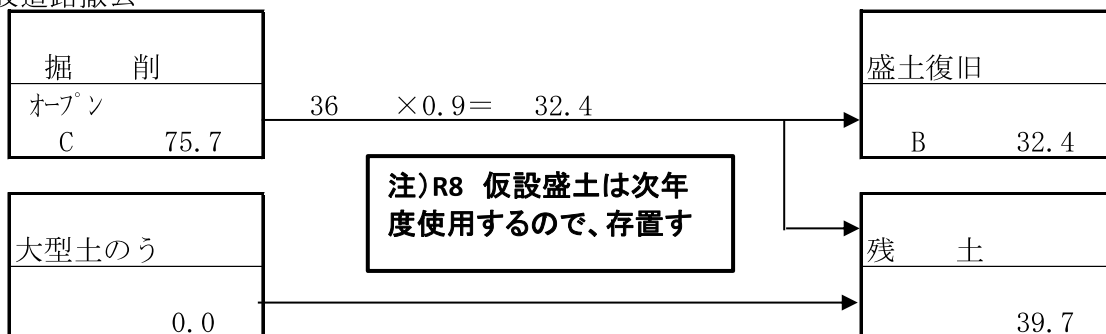
作業土工



仮設道路設置



仮設道路撤去



注)R8 仮設盛土は次年度使用するので、存置す

計第 4 表

水路工

計 算 書

測 点	距 離	DFⅡ型フリューム 800×800		DFⅡ型フリューム落差工 800×800		既製品集水柵 1000-3	
			延 長		延 長		延 長
No. 0			2.09				
			1.91	1		1.5	
			1.31				
			1.19	2~4		4.5	
			1.92				
No. 0+16.4			1.65				1.4
			0.10	5		1.5	
No. 1			1.42				
			1.20				
			1.38	6, 7		3.0	
			2.85	8, 9		3.0	
			0.39	10		1.5	
No. 2							
No. 3							
No. 4							
小 計 ①			m 17.41			m 15.0	m 1.4

計第 5 表

水路工

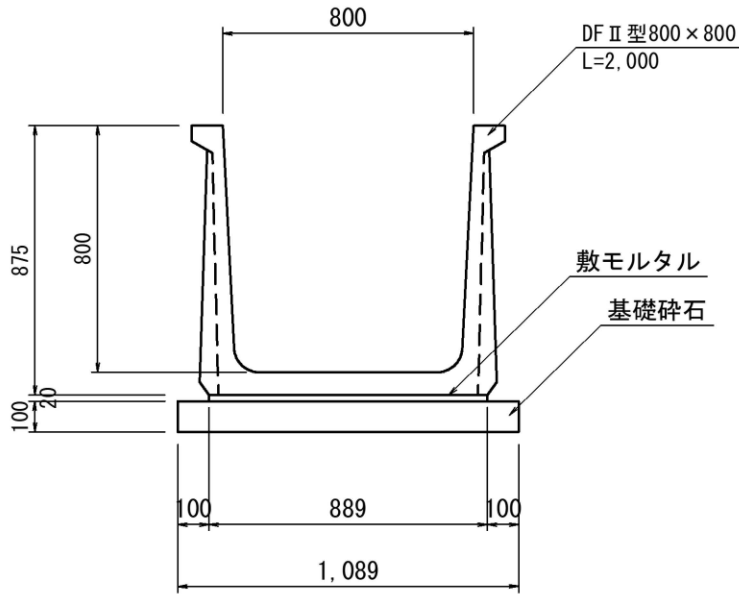
計 算 書

測 点	距 離	間詰めコンクリート 800*800		延 長						
M1	0.24			0.44						
M2	0.30			0.50						
M3	0.48			0.68						
集水樹	0.13			0.23						
	0.13			0.23						
M4	0.80			1.00						
M4-1										
M5										
M6										
M7										
M8										
M9										
M10										
M11										
M12										
M13										
M14										
合 計	m 2.08			m 3.08						

単 位 数 量 計 算 書

DF II型フリューム 800×800

10m当り



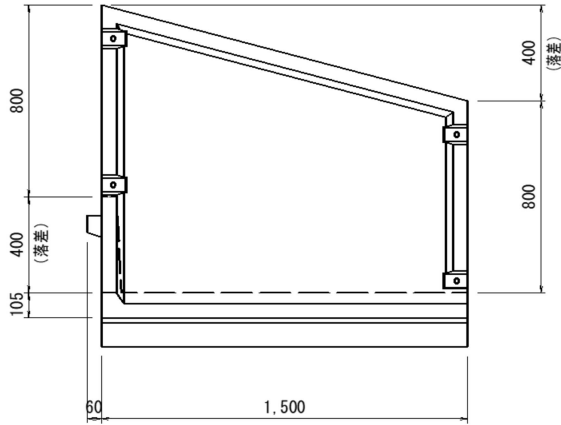
名 称	規 格	計 算 式	数 量
DF II 型	B800×H800	=	5.000 個
敷モルタル	1 : 3 t=2cm	A = 0.889 × 10.0 V = 0.889 × 0.02 × 10.0	= 8.890 m ² = 0.178 m ³
基礎碎石	RC-40 t=10cm	A = 1.089 × 10.0 V = 1.089 × 0.10 × 10.0	= 10.890 m ² = 1.089 m ³

単 位 数 量 計 算 書

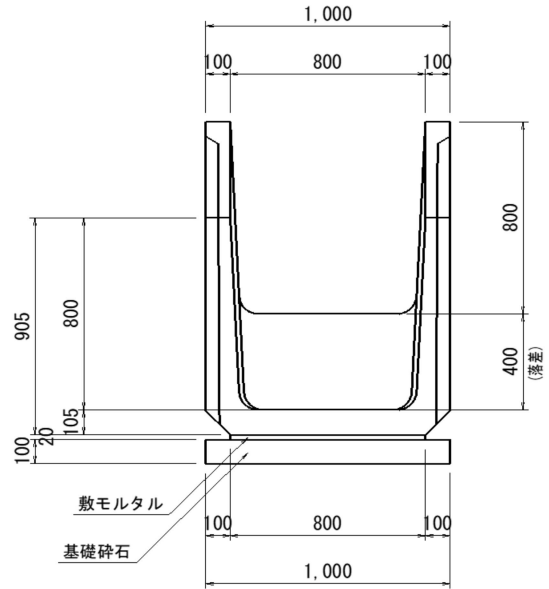
DF II型フリーム落差工 800×800

1箇所当り

側 面 図



正 面 図



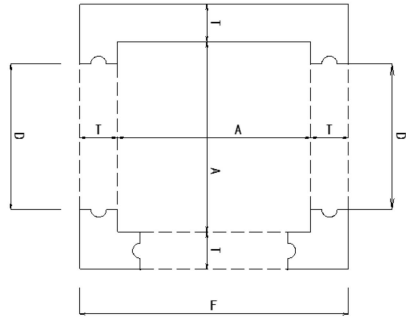
名 称	規 格	計 算 式	数 量
DF II型 落差工	B800×H800	=	1.000 個
敷モルタル	1 : 3 t=2cm	A = 0.800×1.50	= 1.200 m ²
		V = 0.800×0.02×1.50	= 0.024 m ³
基礎砕石	RC-40 t=10cm	A = 1.000×1.50	= 1.500 m ²
		V = 1.000×0.10×1.50	= 0.150 m ³

単 位 数 量 計 算 書

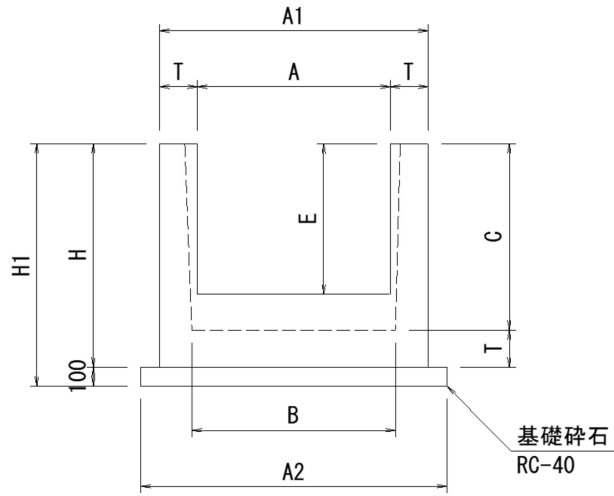
既製品集水桝 1000-3型

1箇所当り

平 面 図 (1000-3型)



主流入口正面図



既製品水槽工寸法表

1箇所当たり

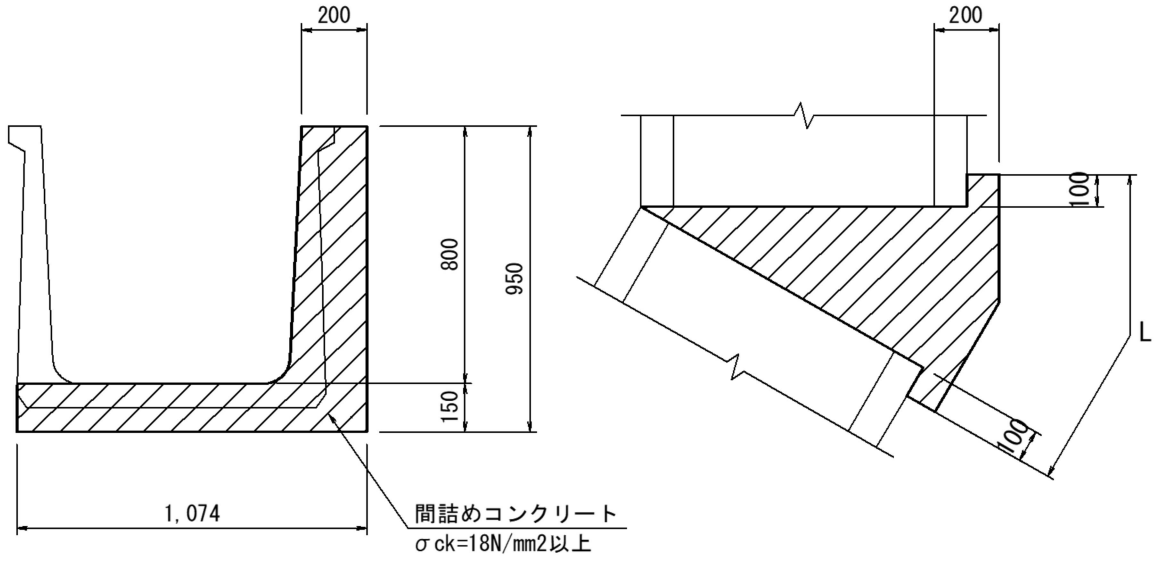
名 称	寸 法											
	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	T (mm)	A1 (mm)	H (mm)	F (mm)	A2 (mm)	A3 (mm)	H1 (mm)
1000-3	1020	980	1000	950	900	200	1420	1200	1420	1620	2420	1300

名 称	規 格	計 算 式	数 量
既製品集水桝	1000-3型		= 1.000 個
基 礎 碎 石	RC-40	$A = 1.620 \times 1.620$	= 2.624 m ²
	t=10cm	$V = 1.620 \times 1.620 \times 0.10$	= 0.262 m ³

単 位 数 量 計 算 書

間詰めコンクリート
DFⅡ型フリューム 800×800

10m当り

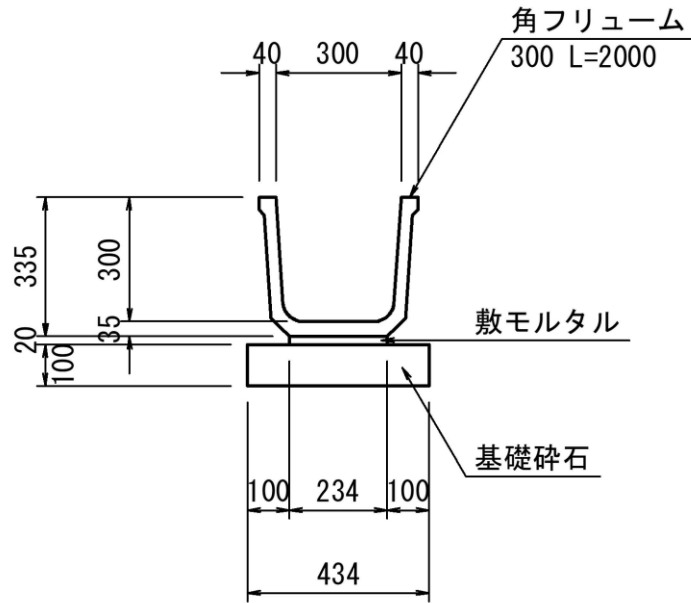


名 称	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = (0.20 \times 0.80 + 0.15 \times 1.074) \times 10.0$	= 3.211 m ³
型 枠	小型	$A = 0.950 \times 10.0$	= 9.500 m ²

単 位 数 量 計 算 書

角フリューム KF300

10m当り



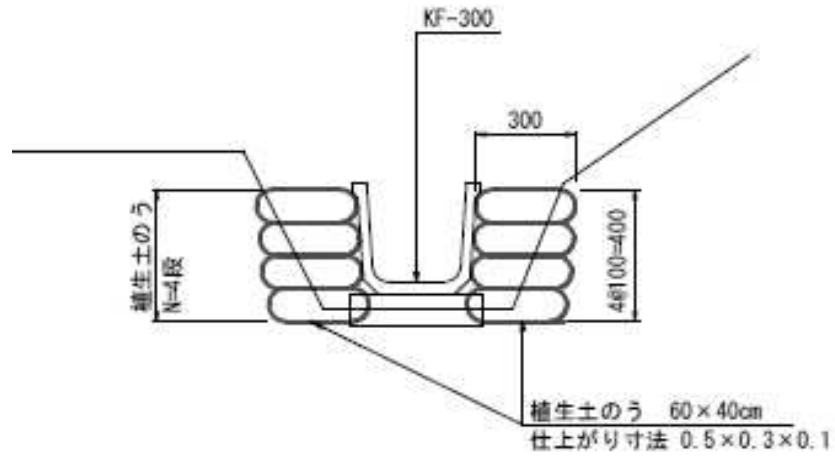
名 称	規 格	計 算 式	数 量
角フリューム	KF300	=	5.000 個
敷モルタル	1:3 t=2cm	A = 0.234 × 10.0	= 2.340 m ²
		V = 0.234 × 0.02 × 10.0	= 0.047 m ³
基礎碎石	RC-40 t=10cm	A = 0.434 × 10.0	= 4.340 m ²
		V = 0.434 × 0.10 × 10.0	= 0.434 m ³

単 位 数 量 計 算 書

土のう設置

1箇所当り

No. 0+16.4 A-A断面

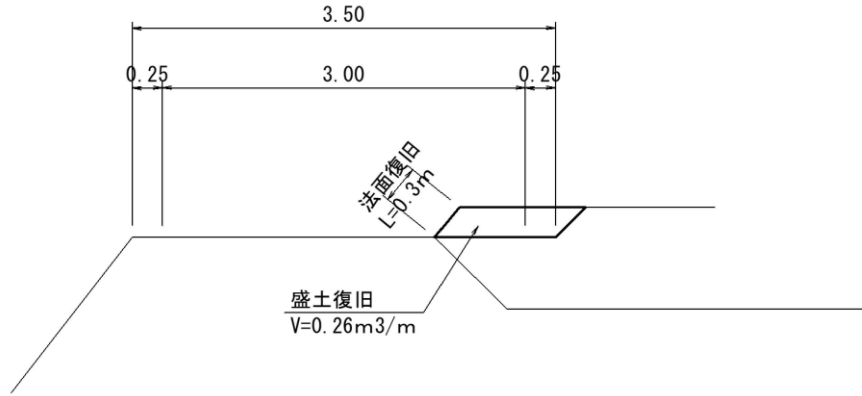


名 称	規 格	計 算 式	数 量
土 の う	植生土のう 60×40cm	$N = 4\text{段} \times 1\text{列} \times 2\text{箇所}$	= 8.0 袋

単 位 数 量 計 算 書

仮設道路 (C-C区間)

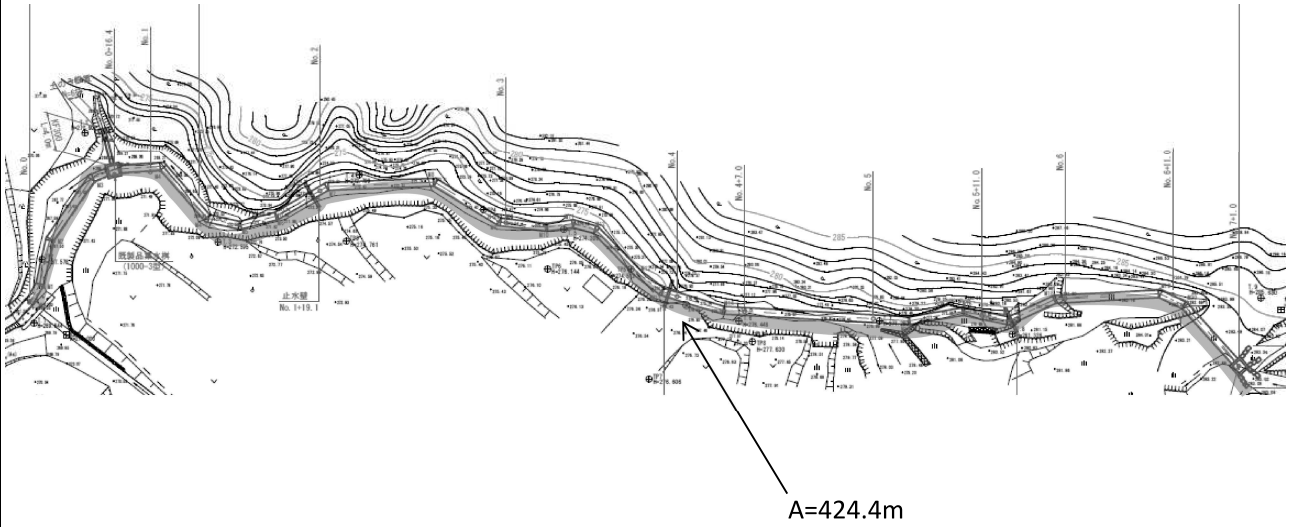
1.0m当り



名 称	規 格	計 算 式	数 量
【設置】 掘 削	V=0.26m ³ /m	$V = 0.26 \times 1.0$	= 0.260 m ³
【撤去】 盛土復旧	流用土	$V = 0.26 \times 1.0$	= 0.260 m ³
法面復旧	盛土部	$A = 0.3 \times 1.0$	= 0.300 m ²

単 位 数 量 計 算 書

伐採処分



名 称	規 格	計 算 式	数 量
伐 採 範 囲	伐採集積	$A=424.2m^2$	$=$ 0.04 ha 4.20 a
伐 採 木 運 搬 処 分	伐採木		$=$ 50 m ³
	根株		$=$ 15 m ³